



UNIVERSITY

CHUKYO

中京大学

校友会通信

2026 vol.44

ご挨拶

不変の理念を強みに、
欠くべからざる教育機関として
存在感を発揮。



学校法人梅村学園総長・理事長
中京大学長

梅村 清英

中京大学校友の皆さまには、平素より温かなご支援を賜り、誠にありがとうございます。おかげさまで中京大学は、2024年の開学70周年というステップを経て一層の躍進を重ね、卒業生は累計で15万人を超えるに至りました。国内では少子化が加速し、私学を取り巻く環境はこの先ますます厳しくなることが予想されますが、地域にとって欠くべからざる教育機関として、さらなる存在感を発揮していけるよう精一杯努めてまいります。

本学が現在推進する10年間の長期計画「NEXT10 2033」では、教育、研究、国際化、学生支援、社会連携・社会貢献という5つの骨子を掲げて、さまざまな改革に取り組んでおりますが、常にその根底にあるのは、校訓「真剣味」、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」です。この不変の理念こそがわれわれの強みであることを忘れず、真摯に進んでいくことで、必ずや展望が開けると確信しております。

今年はアジア競技大会、アジア・パラ競技大会という大きなイベントも愛知県内で開催される予定です。こうした大会を契機に、地域のスポーツ振興や活力醸成につなげていくのも私ども中京大学に課せられた役目の一つと心得ておりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

楽しみを分かち合う。
「いいもの」がたくさん詰まった
心つなぐ場所へ。



中京大学 校友会長

相羽 由光

会員の皆さまには、日頃より校友会活動への多大なご支援とご協力を賜りまして心から感謝を申し上げます。

さて、コロナ禍での会長就任より早くも5年。当初はオンラインによる画面越しの交流でしたが、皆さまと直接お会いする機会が増えるごとに、私自身、母校を中心とした絆の大切さをより強く感じるようになりました。

学生時代はサークルや部活動、寮生活などを通して、自然に仲間意識が育まれたものです。しかしコロナ禍でそうしたチャンスを奪われた世代、あるいは社会へ出ると仕事優先で、人とのコミュニケーションは後回しになりがちという方も少なくないでしょう。

中京大学校友会では新春賀詞交歓会や名刺交歓会、Home Coming Dayなど、母校を卒業された皆さまが集い、交流できるイベントを毎年開催しています。出身学部や先輩後輩に関係なく、懐かしさと同時に、同じ大学の「校友」として気持ちを通じ合わせることでできる機会です。そんな交流を重ねながら絆も深まり、人脈も豊かに広がる。中京大学校友会には、そうした「いいもの」がたくさん詰まっています。全国各地に支部もありますので、多くの校友の皆さまが参加しやすく、楽しみを分かち合える組織となるよう、微力ながら今後とも尽力してまいりますと存じます。



真剣味がつなぐ、
校友のためのコミュニケーション誌

校友会通信 2026 vol.44

CONTENTS

- 02 ご挨拶
- 03 〈特集1〉「今」を懸ける輝くキーパーソンたち
- 09 〈特集2〉Connect with CHUKYO
「つながり」からはじまる好循環を目指して
- 13 第26回 Home Coming Day
- 15 校友会員の営むお店紹介
- 17 2025年度 第2回 名刺交歓会 〈大阪会場〉
- 19 2025年度 第20回 新春賀詞交歓会 異業種交流
- 21 〈特集3〉Under40 真剣味に新風を。
- 23 校友会役員紹介
- 24 各支部からのたより
- 30 ブロック別支部長会・支部校友会開催予定
- 31 「校友会」開催報告
- 40 校友会員の栄典・栄誉
- 41 校友会 課外活動奨励賞 表彰式
- 42 会計報告

卒業生・在学生・教職員で組織する「中京大学校友会」

母校愛でつながる、すべての校友のためのネットワークでありたい。

1958(昭和33)年、会員相互の親睦と校友組織の充実、母校の発展への寄与を目的に発足したのが、「中京大学校友会」です。当初、商学部第1回卒業生345人でスタートした組織も今では15万人を超え、すべての都道府県、さらには海外5支部を置く大きなコミュニティへと発展しています。

会員同士の親睦会をはじめ、ビジネス交流会や中京アスリートの応援、地域イベントの開催の他、在学生の卒業後の就職支援など、すべての校友会員にとって有意義なネットワークをめざして活動中です。

※校友会活動への参加を希望される方は、校友会・教育後援会事務センターもしくは各支部(P24~30)へ直接、お問い合わせください。

在学生は「校友会準会員」、
卒業と同時に「校友会正会員」へ。

準会員	大学生、大学院生(会費納入期間)
正会員	大学、大学院卒業時(会費納入完了)
終身会員	すべての卒業生(会費不要)



他者と競うのではなく
大切なのは
自分の道を
どう全力で生きるか



「今」を懸ける 輝くキーパーソンたち

今号の巻頭特集では、
オリンピックの研究者とアスリート、
自分が信じる目標に向かってまっすぐに立ち、
輝き続ける3名の校友が登場。真剣味をもって挑む姿は、
それぞれの場所、それぞれの道を生きる
私たちにヒントを与えてくれます。

1963年神奈川県生まれ。横浜国立大学教育学部を卒業後、同大学院教育学研究科修士課程を修了。体育教師を目指す中でオリンピックと出会い、アカデミアの道へ。1994年に本学大学院で博士号(体育学)を取得。中京女子大学助教授を経て、2006年より国士舘大学に入職。体育学部教授、学生部長などを歴任。

■ 国士舘大学
■ 学長

田原 淳子 さん

1993年度 体育学研究科(博士後期課程)修了

「私に務まるのか?」国士舘大学初の女性学長になると決まり、まず浮かんだ言葉です。とにかく研究が好きで大学教員を目指してきましたし、管理職志向もありません。ただ、本学の学長選考方式が立候補制から推薦制に変わり、その第一号として多くの教職員の皆さんに選んでいただきました。「はい」か「イエス」しか返事のできない、いわゆる体育会育ち(笑)。「これはもう頑張るしかない」と腹をくくった、というのが正直なところですね。でも、やりたいことがあれば、自分の好きなことをやっていくのがいいと思います。そういう意味で私はすごく恵まれてきました。大学院進学や留学を望めば両親も許してくれましたし、奨学金を得る方法について考える必要はありませんが、やりたいことをやらせてもらえたおかげで今があると感謝しています。

先生方にも恵まれました。オリンピック(オリンピック精神)を研究しようと、中京大学大学院体育学研究科博士後期課程に進み、ご指導いただいた木村吉次名誉教授には大変お世話になりました。文章の書き方から史料の調査方法まで、きめ細かくご指導いただきながら、「研究する力」を一からつけていただけたいと思います。日本の私立大学初の体育学博士後期課程であり、私はその二期生。当時、学位を取得した女性は初めてだったようで新聞にも取り上げていただきました。私が研究を深めてきたそのオリンピックですが、モットーとして知られる「より速く、より高く、より強く」とは、他者との比較ではなく、今の自分より向上しようという姿勢を示します。また「参加することに意義がある」という言葉も有名ですが、これは結果にかかわらず、ベストを尽くすことに価値があるという意味です。コンディションや環境の違いを理由にあきらめるのではなく、与えられた状況の中で「どう生きるか」を問う人生哲学なのですね。競技者に限らず、そうしたすべての人に当てはまるメッセージがオリンピックの理念には込められています。

一九一七年の開学以来、国士舘大学では「日本の将来を担う、国家の柱石たるべき真智識者『国士』を養成する」を建学の精神に、国を思い、世のため人のために尽くせる人材の養成に努めてきました。また「活学を講ず」という創立の宣言にあるように、学生には国内外の人々の役に立つ学問をしつかりと身につけ、自分も、他者をも活かせる生き方を目指して欲しいと思います。



1 1996年、イギリスで開催されたローンボウルズ世界選手権に代表団の一員として参加。木村研究室の門下生として、ともに歩み始めた本学副学長・来田享子教授(右)と。



2 学位取得後も研究史料収集のため、2015年、二人で訪れたドイツのコブレンツ・ランダウ大学(現・コブレンツ大学)図書館で。中央はオリンピック史研究者のオットー・シャッツ氏。

と評価をいただくことも多い国士舘大学ですが、学生に寄り添った手厚いサポートがそれを支えています。

実はトップダウンが苦手なこともあって、これまで部署単位で行われてきた学長への報告会を、皆で課題や意見を共有する場にしました。すると多様なアイデアが生まれ、横の連携も進んで今、大改革の兆しが見えています。今後も「学生ファースト」をいちばんに、新しい風を吹かせていけたらと思います。

※記載された部署名、役職等の情報は、2025年12月取材時点のものになります。

フリースタイルスキー
男子モーグル日本代表
トヨタ自動車株式会社所属

堀島 行真 さん

2020年度 スポーツ科学部卒

1997年岐阜県生まれ。在学中の2017年、世界選手権でモーグル・デュアルモーグルの2冠を達成。2018年の平昌オリンピックは転倒で11位。しかし4年後、北京オリンピックで銅メダルを獲得し雪辱を果たす。一昨年、日本人男子初の種目別年間チャンピオン、昨年は世界選手権で2度目の金メダルに輝いた。



敢えて難しい方を選んで
やり抜く
それが僕なりの
「ベストを尽くす」ということ

たぶん道が二つあったら、多くの人が選ばない方を選んでしまうような性分です。実は優勝した「2024-2025世界選手権」でも、天候やコースのコンディションから練習時間がとれず、ギリギリまで封印するつもりでいたコーク1440という高難度の技に挑みました。空中で体の軸を斜めにして四回転させる技の成功率は、この時点でまだ六〇%ほど。すでに優勝圏内でしたので手堅く勝ちにいくな選択もありましたが、それは僕自身にとっての「ベストを尽くす」ことではない気がしました。

自分にしか歩くことのできない道だからこそ、昨日より今日より、明日の自分をどうすればもっと良くできるか。そこはリスクを恐れず挑み続けることでし

か、たどり着けないところだと思っています。もちろん、そうやって試行錯誤しながら思うような結果を出せず、行き詰まる瞬間もたくさん

ありました。金メダルを信じて挑んだ平昌オリンピックで転倒し、失敗に終わった経験はとくに大きかったですね。大学二年の終わりのころでした。

取り返せるのは四年後しかない。どうにもならない悔しさを抱えて帰国し、次の世界大会を二週間後に控えながら何もできなかったになりました。唯一できたのは、テレビでオリンピックを眺めることぐらい。そんな自分に腹を立て、自分を見失いかけたこともあります。

競技です。でもそこが魅力であり、スピード、ターン、エアと三〇秒ほどの競技のどこにウエイトを置いて準備してきたか。そうした背景も想像しながら観戦していたら、もっと深いところまで楽しんでいただけたと思います。

大きな壁にぶち当たったときは立ちどまっていたいと思います。次第に硬直化した思考もほぐれ、「何が足りなかったのか」と考えをめぐらせることができ、ようやく次の一歩を踏み出せるのだと思います。

さて学生時代は、限から四限までほとんど大学で過ごし、授業のない時間はトレーニング室や図書館に通い詰めました。図書館ではアスリートに必要な知識をいくらかでも蓄えられましたし、卒業後もスキー以外のスポーツの動きを学ぶために、アイスアリーナでフィギュアスケートを練習するなど、中京大学の資源を余すことなく活用させていただけたと感謝しています。



1 いつもスタートを待つあいだ、ゴールするまでの一連の滑りをイメージ。コース上では「そのイメージと、体の動きを一つひとつ照らし合わせていく感覚」なのだとか。

2 2024-2025シーズンは自身最多の優勝5回。世界選手権ではモーグルで金、デュアルモーグルで銀メダルに輝いた。「絶対王者」と言われるキングズベリー選手とはや互角。

3 フィジカルトレーニングは週2回。バーベルの重量は最高190kgを更新した。「筋肉の質や関節の可動域に影響を与えないよう」リカバリーにもたっぷり時間をかける。

4 練習拠点とするノルウェーのスーパーで。体重維持のため甘いものは控えるが、肉なら牛、豚、鶏と偏りなく、さまざまな食材からまんべんなく栄養を摂るのが堀島流。

よくモーグル選手たちのあいだでは、「フリースタイルスキーのことを「矛盾するスポーツだね」と話しています。スタートからゴールまでスピードやターンの正確さ、エア(ジャンプ)の完成度など多くの要素を求められますが、たとえばエアの高さを優先するとスピードは落ちますし、速さを優先すれば空中姿勢が乱れやすくなります。一方を追求すれば他方が足を引っ張る。そうした矛盾を二つも三つも抱えながら、絶妙なところでバランスをとっていく難易度の高い

また校友の皆さまの応援は、母校のつながりの有り難みを強く感じる部分です。簡単じゃない方に立ち向かっていく必死さが、次の世代の皆さんの刺激になるかもしれないですし、何かを始めるモチベーションになれるかもしれない。それがスポーツの力だとも思いつつ、その上で母校にご恩返しできるような結果を出していきたいですね。

※記載された部署名、役職等の情報は、2025年12月取材時点のものになります。

ルールを守り 仲間や相手を敬う だから、笑顔で ベストを尽くせる

北海道北見市常呂町出身です。地元にはカーリング専用施設があり、中学一年生のとき、吉田知那美選手(現口コ・ソラーレ所属)に誘われたのが競技を始めるきっかけとなりました。

それまで走ることが好きで、小学生から陸上部に所属し、中学、高校とカーリングも続けてきましたので、季節ごとに氷上と陸上を行ったり来たりする、そんな二刀流生活でした。

その後、カーリングチームが解散することとなり、陸上競技に専念するつもりで中京大学へ入学しました。七種競技を専門種目に、走って、跳んで、投げて、授業以外の時間はほとんど陸上競技場で過ごしていましたね。厳しいトレーニングをこなし、一緒に汗を流した仲間こそ財産

ですし、学生時代に鍛えたフィジカルの強さが、今の自分を支える土台になっています。

やがて一度は離れた氷の上に、再び戻ることになったのは大学二年次のときでした。二〇二四年のソチオリンピック出場を目指し結成されたチームから声をかけていただきました。

陸上競技同様、カーリングも大好きなスポーツです。もはやどちらかに絞ることもできず、もう一度、二刀流生活が始まりました。とはいえ、練習拠点は愛知と北海道です。授業の少ない木曜や金曜に移動し、週末にかけて練習したら戻ってくる。そんな慌ただしい日常でしたが、チームスポンサーの支援や陸上競技部の仲間の支えもあって、精神的に追い詰められることなどは

ありませんでした。また恩師の本田陽先生には、「戦力として求められるのは競技者として有り難いこと」と背中を強く押していただきました。その言葉がなければ、きっと今もカーリングを続けていなかったらだろうと感謝しています。

カーリングは、ミリ単位でストーンを投げ分ける技の正確さはもちろん、スワイピングといって、ブラシでゴシゴシ氷をこする動作には体力も必要です。さらに「氷上のチェス」とも呼ばれる戦略性、チームスポーツとしてコミュニケーション力も求められるなど、さまざまな要素が詰まっています。その奥深さこそプレーヤーとして醍醐味を感じるところであり、チームで戦略を立て、シヨットをつなぎながら狙



い通りに試合運びできたときの喜びは大きいですね。

実は、カーリングというのはフェアプレー精神をとっても重んじるスポーツです。試合に勝ってもどんなに大喜びしたくても、まずは握手で相手の健闘を称えてから喜ぶ。そこには相手をリスベクトする精神が深く根付いています。「ルールを守る、ベストを尽くす、チームワークをつくる、相手に敬意を持つ」という中京大学の四大綱に通ずるものがあります。

「自分たちが勝ちたい」という思いは当然強くありますが、相手がいてくれて試合ができるもの。その感謝の思いを胸に、チームのみんなと笑顔でプレーできるように心がけています。

大きな大会に備え、会場や時間帯によって変化する氷のコンディションに対応できるよう、さまざまな場所で練習と調整を重ねています。やるべき準備を着実に積み上げ、常にベストな状態で臨みたいですね。そしてチャンスをつかみ取り、勝ち進みながら、カーリングの面白さと競技の素晴らしさを多くの方に知っていただけるよう頑張ります。

1 氷のコンディションをいち早く読み取ることも重要なポイント。さまざまなコートで経験を積み、感覚を錬磨する。

2 低い前傾姿勢を氷上で保ちつつ、繊細なタッチを使い分けられるのは、体幹の強さと柔軟性を併せ持つ小野寺選手の強み。

3 短時間で意見を出し合い、戦術を決められるよう、日頃からチーム内でしっかりと意思疎通を図っている。



女子カーリング
日本代表
フォルティウス(北海道電気保安協会)所属

小野寺 佳歩 さん

2013年度 体育学部卒

1991年北海道生まれ。カーリング競技を始めてすぐに頭角を現し、中学2年で日本選手権出場(3位入賞)。2014年にはソチオリンピック出場。大学卒業後はカーリングに道を絞り、日本を代表する選手として存在感を発揮。普段は所属先(北海道電気保安協会)でカーリング競技を主に、広報業務との二刀流をこなす。

※記載された部署名、役職等の情報は、2025年12月取材時点のものになります。

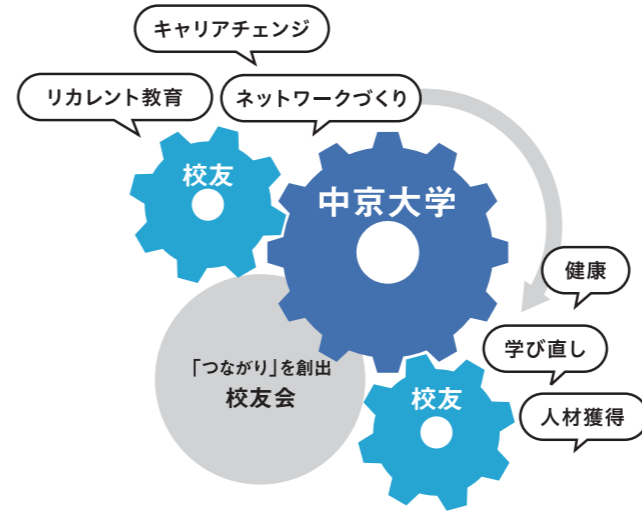
Connect with CHUKYO

「つながり」からはじまる 好循環を目指して

**同窓会から「校友会」へ。
さらに母校を中心とする
One Teamへ**

中京大学校友会が設立されたのは一九五八年。当時は「中京大学同窓会」の名の下に、卒業生の親睦と母校の発展を目的として組織づくりを進め、全国各都道府県、海外五拠点に支部を持つ大きなネットワークとなりました。

この間、支部活動を通して地域との交流や、中京大学を応援して下さる方が次第に増えていきました。これを背景に、中京大学同窓会が卒業生の枠組みを超えて、さらに大きな組織へ脱皮を図るべく、「中京大学校友会」に名称変更したのは二〇一九年のことです。



しかし、ほどなくして訪れたのは、かつて経験のないコロナ禍による「ステイホーム」の時代でした。不要不急の外出や都道府県をまたいだ移動の自粛要請がある中、改めて「人とのつながり」の大切さに気づくと同時に、「コミュニケーション」の取り方にも変化が生まれました。

校友会でもすべての活動が停止し、ようやく開催できた「新春WEB賀詞交歓会」では、画面越しの会話に戸惑い、つとも、校友の笑顔に安心感を覚えた方もいらつやつたことでしょう。そして今、世界は日常を取り戻し、校友会の会員数は十五万人を超えています。かつてのように大勢で集まり旧交を温めるだけでなく、校友がつながることの意義をあらためて考えながら、こ



母校・中京大学との接点を持つよう、校友の皆さまとの「つながり」を創出することも、校友会の役割です。

の大きなネットワークをどう活かし、すべての校友にどう還元していくか。新たな取り組みを模索し、推進していくことが大切と考えています。

また昨今、地域社会が大学に求める役割はますます多様化しています。

中京大学においても、長期計画「NEXT 10 20 33」の骨子の一つに「社会連携・社会貢献」を掲げ、大学のリソース（資源）を最大限に活用しながら、社会課題の解決に貢献していくことを目指しています。

スポーツの力を活かすことも、その一つです。たとえば幅広い年齢層の健康づくりに寄与するほか、教育力や研究力といった知的財産を基盤に、学び直しの場や新たなスキルの獲得、ネットワークづくりの機会を創出することなどです。

そしてこれらの機会を地域の方々はもとより、校友の皆さまにも有効活用していただくことは、母校・中京大学の願いでもあります。

校友会も大学と一体となり、支部との連携を強めながら、校友の皆さまが挑戦し続ける人生を応援する方針です。

卒業して終わりではなく、卒業後も母校を中心に「One Team」としてつながり合い、共に豊かに成長し合えるように。校友会は今、「大学と校友」、「校友と校友」をつなぎ、そのつながりからはじまる好循環をめざしています。

**開かれた大学として
ソフト・ハード両面から
社会に還元**

世界最高水準のスポーツ施設を整備し、「開かれた大学」としてその多くを地域に開放する母校・中京大学。

本紙特集一で、堀島行真選手も活用したという中京大学アイスアリーナは、授業や部活動だけでなく、日本のトップレベルの選手が競技力を高めるトレーニング拠点となっています。小野寺佳歩選手が学生時代を過ごした中京大学梅村陸上競技場も、日本陸上競技連盟の公認施設です。全天候型のフィールドではこれまでに日本記録も誕生しています。

また、オリンピック関連の膨大な資

アイスアリーナについては
本紙06ページにも登場



右 【中京大学アイスアリーナ】最新設備を備えたスケートリンクからは、日本が誇るフィギュアスケーターやショートトラック選手が次々に誕生しています。
左 【中京大学スポーツミュージアム】大学の研究者が収集した物や寄贈いただいたオリンピック関連のユニフォームなど貴重な資料が展示されています。
開館日：火曜日～土曜日 開館時間：10～17時 入館料：無料



水泳やスケート、サッカー、野球教室など、充実した施設を職員や学生などが指導にあたります。

ハード両面から活かし、広く社会へ還元する母校に対し、校友会も力を合わせて取り組んでいるところです。

料を収蔵する中京大学スポーツミュージアムでは、多彩な展示を一般公開。国士舘大学田原淳子学長の文庫を含む、デジタルアーカイブ化された約二万点のスポーツ資料も検索可能です。

このほか豊田キャンパスでは、家族揃ってさまざまなスポーツを楽しむ「中京大学子どもスポーツフェスタ」を毎年開催しています。オリンピックやプロに内定した学生が講師を務め、応募が殺到するイベントとなっています。さらに豊田市と運営する「イーグルススポーツスクール」は、子どもと高齢者が運動を始めるきっかけづくりや体力向上を目的としたスポーツ教室です。

こうして大学のリソースをソフト・

**中京大学の一員である
ことこの価値を
ずっと感じられる組織に**

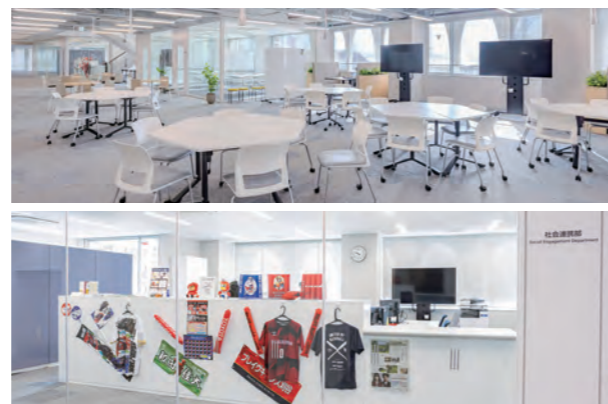
授業で学んだ理論を社会で実践し、課題解決力を培えるよう、社会連携教育に取り組む大学が増えています。

中京大学では、二〇二五年度に「社会連携教育センター」が設置されました。あらゆる学外組織と連携しながら、さまざまな社会連携教育の機会を学生に提供。複雑で急速に変化する社会に適切に課題解決力を持つ人材の育成を目指しています。

アントレプレナーシップ教育も社会連携教育の一部と捉え、本学を卒業した起業家を講師として招き、講演会を開催しました。同じ大学出身者であり、学生にとって自身のロールモデルとなりうる存在だけに、参加した学生からは「自分の進路や人生の選択にヒントを得た」といった感想が寄せ



「大企業で挑むスタートアップ精神」と題し、本学卒業生の校友を講師に開催された学生向けキャリアイベント。



開設されたばかりの「中京大学社会連携教育センター」。

られました。多様で豊かな人的資源こそ、校友会の魅力。社会とのつながりを求める学生の意欲を、多くの校友の皆さまに後押ししていただきたいところです。

もちろん、校友が求める支援やつながりを提供することも大切ですが、これに加えて災害時には見舞金を送るなど、共助の精神も校友会には息づいています。

そして現在、ヨーロッパを拠点とする新支部発足に向け、着々と準備が進行中です。つながりをグローバルに、ますます意義あるものへ。大学卒業後も「中京大学の一員である」とこの価値を感じられるよう、さまざまなチャレンジをしていく方針です。校友会のこれからの取り組みに「期待ください」。

**大学四年間だけじゃない。
母校が一生のキャンパスとなるように。**



中京大学 蓼科セミナーハウス『マウントビュー蓼科』



校友の旅心を

リーズナブルな価格で応援

北アルプスの絶景が誘う、蓼科の森へ

南・北アルプスとハケ岳連峰、その雄大なパノラマを一望できる標高一五〇〇mの高台に位置するのが、中京大学蓼科セミナーハウス『マウントビュー蓼科』です。

もとは学生がゼミや部活動のために利用するセミナーハウスとして用意されましたが、空室があれば校友の皆さまにもご利用いただける施設となっています。

深い静寂に包まれた約二万五〇〇〇㎡の敷地には、ラウンジやサウナ付大浴室を備えた宿泊棟をはじめ、テニス、バレー、バスケットを楽しめる屋外コートやドッグランも完備。

また、レストランで味わえる心づくしの和食は、地元新鮮な食材もふんだんに、これを目当てに訪れるリピート客も多くいらっしゃいます。

周辺には蓼科高原や白樺湖、霧ヶ峰、美ヶ原と見どころスポットも点在し、自然を思う存分満喫できるエリアとなっています。

しかも近隣施設の約半額という利用料金こそ、最大の魅力。ぜひご友人、ご家族揃ってお出かけください。

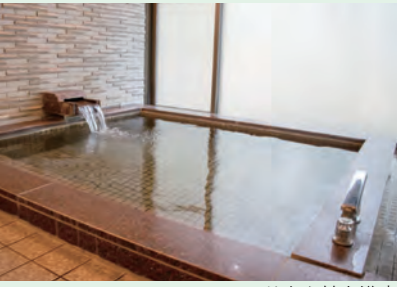
※各部屋は和室(トイレ無)、また施設内に多目的トイレはありません。配慮が必要な場合は予約時にお申し出ください。



和室



ラウンジ



サウナ付大浴室



テニスコート

学生食堂は**Home Coming Day**でも
利用可能!
どうぞお気軽にお立ち寄りください



①レベル1から3まで、競技特性に見合ったカロリーを摂取できるアスリート定食。②「学生を照らす場に」と命名された、明るく広々とした「CHUKYO Terrace」。③中京大学スポーツの象徴、イーグルの名にちなんだ「EAGLE TERRACE」。④⑤「CHUKYO Terrace」の日替わりランチ。④は魚料理、⑤は肉料理。どちらもおいしさとボリュームにこだわった、毎日でも食べ飽きない人気のメニューとなっています。



100周年記念事業の改修工事により、走路の状態が大幅に改善された中京大学梅村陸上競技場

新施設紹介

母校とつながり、共に創りあげる キャンパスはまだまだ進化中

リニューアルされた食堂で、学生の「きちんと食べる」を応援

多くの校友の皆さまに多大なるご協力を賜りました二〇二三年度の「梅村学園創立一〇〇周年記念事業」。その一環として実施されたのが、名古屋・豊田両キャンパスにある学生食堂の大規模リニューアルでした。

とりわけ老朽化が目立った施設を明ら

るい空間へ一新すると同時に、混雑時でもスムーズに食事を提供できるモバイルオーダーシステムなど、新たな工夫も採り入れられました。

まずは二〇二四年四月、豊田キャンパス2号館に学生食堂「EAGLE TERRACE」、カフェを併設した学生ラウンジ「CHUGLECAFÉ」が誕生。プロスポーツチームで提供される食事と同じように栄養バランスに配慮したアスリート定食は、摂取カロリーも

選択でき、学生アスリートだけでなく、健康維持にも役立つと学生・教職員に好評です。

続いて翌二〇二五年四月には、名古屋キャンパス0号館に「CHUKYO Terrace」がオープン。洒落たカフェのような空間に生まれ変わった新食堂では肉と魚、二種類の選べる日替わりランチが人気となっています。

名古屋・豊田キャンパスいずれも、学生食堂での学生の食費については、校友会も教育後援会などと共に補助金の一部を負担。学生がきちんと食べて、健康維持できるよう支援しています。

寄付金はこんなところにも活かされました

キャンパス内の環境整備をはじめ、奨学金や部の活動費、研究費など、学生の大きな支えとなっています。

100周年記念寄付金事業は『真剣味』未来サポート寄付金に移行しました

- 寄付の種類
- キャンパス整備に関する寄付金
 - 教育、研究、社会・地域連携に関する寄付金
 - スポーツ活動に関する寄付金
 - 給付奨学金に関する寄付金
 - 中京大学附属中京高校に関する寄付金

梅村学園では、100周年記念寄付金を新たに設立した(『真剣味』未来サポート寄付金)へ移行しました。多様化・複雑化するニーズに応えるため、キャンパス整備や災害対策の強化、給付奨学金の充実、スポーツを通じた地域社会の活性化など、母校・中京大学が学生や地域の未来を切り拓いていけるよう、校友の皆さまの温かいご支援をお待ちしております。

『真剣味』未来サポート寄付金に
関してはこちらから



お問い合わせ・ご予約

中京大学 蓼科セミナーハウス

〒391-0213
長野県茅野市豊平字東獄
4734-2841(三井の森内)

TEL:0266-76-2588
FAX:0266-76-5539

詳しい情報は
こちらから



両キャンパス 開催企画



名古屋キャンパス



キャンパスツアー

1グループ15名ほどでまわる見学ツアー。職員の説明に熱心に耳を傾け、参加者の皆さん、どの施設にも興味津々といった様子でした。



校友生ショップ

ご来店いただいたのは、「BAKERY つむじ風(パン)」、「きりむきり(シフォンケーキ)」、「鳴萬(テールスープ)」、「元祖鮎もなか本店(最中)」、「川井ファーム(新米)」、「松尾醸造場(味噌、醤油)」、「iLimA(丼物)」、「祥(餃子)」、「しら河(うなぎ)」と全9店。どのブース也大盛況でした。ご協力ありがとうございました。



スタンプラリー

ポーチやエコバッグ、缶バッジなど、中京大学オリジナルグッズがもれなく当たるスタンプラリー。可愛いチューグルグッズに小さなお子さまも大喜びでした。

先輩たちの姿に、若かりし頃の自分が重なって温かい気持ちになりました。

子ども向けの企画も多く、学生さんの優しい対応に娘たちもごきげんでした。



豊田キャンパス



キャンパスを訪れるのは20年ぶり。大学の発展を見てうれしくなりました。



「しら河」自慢のたれをたっぷりまぶした、「うなぎのり巻き」も特別販売。



第26回
2025.11.2

ホームカミングデー
Home Coming Day

名古屋キャンパス 豊田キャンパス

模擬店や縁日、ライブパフォーマンスetc.
にぎわうキャンパスで
もう一度、出会うものがあります。

学部時代の思い出話に花を咲かせつつ、子どもたちと一緒に満喫しました。



友人や後輩との再会を子どもと一緒に楽しめる、めったにない機会だと思います。



三連休の中日となったこの日、中京大学校友会主催「第二十六回 Home Coming Day」が開催されました。いかにも秋らしく抜けるような青空のもと、名古屋・豊田両キャンパスには総勢三二三名の校友とそのご家族が大集合。大学祭で活気づく母校を思い思いに楽しみました。

名古屋キャンパスには、卒業して間もない若い世代から、数十年ぶりに訪れたという大先輩まで、幅広い年齢層の校友が集まりました。

一方、豊田キャンパスでは、お子さま連れのご家族が目立ち、この日を楽しみにしてくださったか、受付開始と同時に長蛇の列ができるほどの盛況ぶりでした。

両キャンパスとも注目を集めたのが、リニューアルされた学生食堂です。カフェテリアのような空間でいたただくランチは満足感もたっぷり。今の学生がうらやましい、との声も聞かれるほどでした。

そして校友会イベントの目玉といえば、卒業生が出店する「校友生ショップ」。いずれも評判の名店揃いで争奪戦のような売れ行きでした。また、学内施設をガイド付で見学でき



校友生ショップ
コラボ企画
iLimA x
松尾醸造場
昨年の出店をきっかけに、校友生ショップの2人が意気投合。松尾醸造場の麦みそを使って、iLimAさん特製の豚汁が提供されました。

今回はじめて
参加しました。
ゼミの先生にも
お会いできて
大満足です。



このほか、模擬店利用時にもらえるスタンプを集め、オリジナルグッズを手に入れるのが「スタンプラリー」。懐かしい記憶をたどりながら歩くツアーの参加者、後輩のブースでスタンプをもらおう先輩……どの顔からも笑顔があふれ、よき学生時代が感じられた一日となりました。次回もより多くの皆さまの参加をお待ちしております。

「キャンパスツアー」も人気の企画です。豊田キャンパスでは、めったに歩くことのない競技場に案内され、うれしそうにトラックを走る姿も見られました。

参加した卒業生の声



ベビーカーに乗っていた頃から通う子どもたちも毎年楽しみにしています。今では私たち以上に詳しくなり、今回は真っ先に縁日のゲームを制覇しようと張り切っていました。

写真右
小畑 栄治さん (2004年度 経営学部卒)
写真左
小畑 真子さん (2005年度 文学部卒)



夫婦ともにソフトテニスサークルに所属。おみこしを担いで練り歩いた大学祭や学食、キャンパスの至るところで思い出がよみがえり、今日は気持ちも若返りました。

写真右
堀内 正実さん (1984年度 法学部卒)
写真左
堀内 智子さん (1984年度 文学部卒)



毎回のよう家族で参加し、チケットを活用させてもらっています。体育館などの施設を巡っていると、体育学部で学んだ母校での思い出が自然とよみがえってきます。

写真右
高橋 篤史さん (2005年度 体育学部卒)
写真左
高橋 明香さん (2005年度 体育学部卒)



みんな同じ心理学部の出身とはいえ、卒業後の進路は三者三様。スケジュールを合わせるのも難しいですが、年に1度、ホームカミングデーが再会の場になっています。

写真右から
1. 八鍬 実紀さん (2016年度 心理学部卒)
2. 伊藤 愛理さん (2017年度 心理学部卒)
3. 澤田 知実さん (2016年度 心理学部卒)



私たちは体育学部の仲間と、この5人で会うのは50年ぶり。当時とは比べ物にならないほど施設も充実していますし、後輩の頑張る姿を見て中京大学の成長を肌で感じました。

写真右から
1. 村越 武泰さん (1975年度 体育学部卒)
2. 池田 安宏さん (1975年度 体育学部卒)
3. 野呂瀬 秀さん (1971年度 体育学部卒)
4. 口野 孝典さん (1974年度 体育学部卒)
5. 松戸 良一さん (1974年度 体育学部卒)



静岡から家族全員で参加しました。もはやホームカミングデーはわが家の恒例行事。毎年、訪れるたびに進化している母校の姿は誇らしく、ずっと続けて欲しいイベントです。

写真右
大井 勇人さん (2004年度 経営学部卒)

「自分のお店を紹介したい」
「校友会員の店を知っている」という方は
是非こちらまでご連絡を

中京大学校友会事務センター
メールアドレス
koyu@ml.chukyo-u.ac.jp

または
ご登録フォームより
直接入力



校友会員の営むお店紹介



福井県 福井市 美・味・麺・庵 たからや

店主 宝山 栄一さん
1978年度 文学部卒

大学生のころ、友人と車で野宿をしながら全国周遊したことが懐かしい思い出です。また、さまざまなアルバイトをしながら社会勉強もできましたし、とくに飲食店での経験は今でも役立っています。そうした中でこの仕事のやりがいや面白さを感じ、長男でもあることから家業を継ぐことを決めました。手打ちそばが自慢の店です。仕事に対して手を抜かず愚直に取り組むこと、原材料も妥協せず最高のものを使用することにこだわっています。創業63年、全国のそば好きが愛してやまない福井県産在来種そばのおいしさを、これからも多くの皆さまに届けていきたいですね。



原材料は香りから違う福井在来種。
ツウも唸る、こだわりの手打ちそばが自慢。



福井県産(大野・丸岡)の在来種を手打ちしたそばは、オンラインストアでも購入できるようにしました。

「さくらえびのかき揚げとざるそば」(税込1,793円)が看板商品。若狭牛のローストビーフ丼など、メニューも豊富。

Information

【TEL】0776-26-1175
【営業時間】11:00~15:00 17:00~21:00(LO)
【定休日】水曜日
【所在地】福井県福井市新田塚1-25-1
【アクセス】えちぜん鉄道三国芦原線「新田塚」駅 徒歩約5分



【オンラインストア】

愛知県 名古屋市 元祖 鯨もなか本店

専務取締役 古田 憲司さん
2006年度 文学部卒

バンドの資金を稼ぐために大須でバイト、ライブハウスは新栄、大学のある八事を行ったり来たり4年間でした。在学中にCDデビューが決まり、スーツ姿で就活に励む同級生を横目に、ひとり金髪頭の異端児だったと思います。卒業後は会社勤めや不動産業での起業を経て、2021年、コロナ禍で廃業寸前だった家業の店を妻と二人で継ぎました。看板商品「鯨もなか」は100年以上の歴史ある名古屋銘菓。その魅力や価値を守りたくて、SNSによる情報戦略を中心に店を立て直すことができました。実は母校のご縁で人脈が広がり、新たなビジネスチャンスにもつながって感謝しています。



和菓子だけでなく洋菓子もショーケースに並ぶ。パイ生地であんこを包んで焼き上げた「金しゃちパイ」も人気の商品。



香ばしいもなかの皮に、上品な甘さの粒あんをはさんだ「元祖 鯨もなか」(6個入/税込1,180円)は藤井聡太六冠の勝負おやつにも。



明治40年創業。独自のSNS戦略で
消えかかった「鯨もなか」の人気を復活。

Information

【TEL】052-321-1173
【営業時間】平日・土曜 9:00~17:30 日曜・祝日 9:00~17:00
【定休日】年末年始、他不定休
【所在地】愛知県名古屋市中央区松原2-4-8
【アクセス】地下鉄鶴舞線「大須観音」駅 徒歩約7分

愛知県 海部郡蟹江町 活魚料理・御食事処 元海

2代目 黒川 貴弘さん 2010年度 文学部卒
敦子さん 2010年度 文学部卒

言語表現学科では、会話の技術や人の心理を学び、100人ほどの学生の前で話をする授業で度胸やトーク力も鍛えられました。卒業後はアパレルメーカーへ就職するつもりが、自分らしく生きられる道ではない気がして一転、内定を辞退。大学にも迷惑を掛けてしまいましたが、地域とつながり、校友ともつながることができるこの環境が合っている気がします。妻とは学部も学科も同じ。この春、2代目店主として継ぐことになり、先代がつくり上げてきた味を守りながら、夫婦二人、若いお客さまにも目と舌で楽しんでいただけるよう、自分たちの色も出していけたらと思っています。



活いかの姿造り(時価)。魚介は中央卸売市場で仕入れるが、仲買人とのコミュニケーションが目利きのいちばんのコツ。大学での学びが生かされる。



創業30年。お値打ちで美味しいとランチも評判の御食事処。いけすを泳ぐ魚は、今にも飛び出さんばかりの活きの良さ。



巨大ないけすを泳ぐ活魚や貝など、
鮮度をそのままテーブルに、リーズナブルに。

Information

【TEL】0567-96-2868
【営業時間】11:00~14:00 17:00~21:30
【定休日】月曜日(祝日の場合は営業)
【所在地】愛知県海部郡蟹江町本町6-43
【アクセス】近鉄「蟹江」駅 徒歩約12分



こだわりの味は地域への恩返し、
二人三脚でお客さまに愛され続ける店に。

Information

【TEL】090-7502-8048
【営業時間】17:00~23:00
【定休日】月曜日
【所在地】愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2 森本ビル1階
【アクセス】地下鉄鶴舞線「八事」駅 徒歩約30分

愛知県 名古屋市 餃子と酒 祥(SHO)

店主 尾身 祥太さん 2011年度 文学部
美月さん 2015年度 文学部卒

大学時代は、名古屋キャンパスの向かいにあった中国料理店でアルバイトにいそむ日々。中京大学教職員の方の利用も多く、お声もよく掛けていただきました。そうしたお客さまとのふれあいや接客好きが高じて飲食業界を志すように。その後、料理人としての修業を積み、独立したのは2023年6月です。同じアカペラサークルだった妻と二人、地域に恩返ししたい気持ちもあって八事に店を構えました。餃子や四川麻婆豆腐など、本格中華を気軽に楽しんでいただける居酒屋です。芋焼酎「薩州 赤兎馬」の種類も豊富で、お1人でもふらっとお立ち寄りください。



注文を受けてから包む餃子(税込418円)は、表面は香ばしく、ジューシーな仕上がりが。化学調味料に頼らず、こめ油で焼き上げるヘルシーなおいしさ。



「大切なお金をいただく以上、手抜きは許されないと頑固一徹のご主人に、奥さまがそっと寄り添いサポート。」

名刺交歓会

2025年度
第2回

大阪会場



名刺交歓会とは

中京大学を卒業したビジネスパーソンのための異業種交流会が「名刺交歓会」です。多種多様な業種や職種の人々がつどい、つながりあえる場として2017年、東京を開催地にスタートしました。校友同士、杯を交わしながら仕事の悩みを相談する人、新規事業のアイデアを探る人など、若手から企業のトップまで、世代や立場の違いに臆せずコミュニケーションを図れる機会として好評を博しています。



講演会

【講師】 うちだ としひろ 内田 俊宏氏 (学校法人梅村学園常任理事・中京大学経済学部客員教授)
【演題】 今年の漢字は、ズバリ“米” 日米の今後の景気は?!



経済学部客員教授であり、エコノミストとして自治体委員の他、吉番屋社外取締役、元気あおもり応援隊など幅広く貢献中。

日本経済の今後の展望について、米価と米関税の視点から分析

二〇二五年九月二十日(土)、THE OSAKA STATION HOTELにて、「第二回中京大学校友会名刺交歓会大阪会場」が開催されました。
東京・大阪の東西の大都市圏で交互に行われるイベントで、今回は「大阪・関西万博」で活気づく大阪が舞台。まずは、エコノミストとして多方面で活躍中の経済学部・内田俊宏客員教授による講演会での幕を開けました。

テーマは、ビジネスパーソンにとって気になる日本経済の展望。とりわけ「令和の米騒動」と言われ昨年度から続く米価の高騰と、トランプ大統領の発言により一転二転する「米相互関税」が当面の懸念材料。この二つの「米」に注目し、今後の物価見通しや米関税の企業業績への影響を解説しました。

講演では、景気動向を示す指標や消費者物価のほかに、いくつかの税率を前提条件とした自動車や電子・電機産業へのイン

パクトを分析しました。備蓄米の放出効果は限定的で銘柄米の価格下落には期待できない一方、米関税は円安効果もあり、企業業績への悪影響も軽微にとどまる可能性を指摘しました。株見通しは、日銀の金融引き締めがマイナス要因となる一方で、米FRBの金融緩和が追い風となるほか、実体経済が弱い時期ほど株価は上がる傾向があり、日経平均は五万円を目指す展開を予想しました。物価高や米関税など不確定要素が多い中で、今後の経済に関して明るい兆しを感じる締めくくりとなりました。



名刺交歓会

校友のつながりが、それぞれの未来を動かす きっかけとなるように

ビジネスチャンスを創出、最大化できる場として

午後四時すぎ、定刻通りに名刺交歓会が始まりました。会の冒頭、就任五年目を迎えた相羽由光校友会長が登壇。「もとは校友生の就職支援をきっかけに、二〇〇四年に催したビジネス交流会が名刺交歓会の原点です。やがて本拠地・名古屋での新春賀詞交歓会となり、東京・大阪にも広がって今日を迎えました。これも校友の皆さまのご支援の賜物であり、これまで以上に誇りを大切にしたい」と挨拶しました。

挨拶状況、体育会を中心とする後輩の活躍ぶりなどが伝えられると会場が沸き立ちました。続いて登壇した関根満子校友会副会長より、「久しぶりの再会という方は近況報告も楽しみつつ、この機会をいかしていただければ幸いです。乾杯！」との発声を合図に校友同士の交流がスタートしました。

【話しやすさ】
【つながりやすさ】
【母校のコミュニティならではの】

今年度の参加者は三十七名。皆さん、テーブルをまわるフットワークは軽やかで、広い会場もどこか狭く感じられます。同級生に誘われ、初めて参加されたのは営業マンの舛井翔さん(二〇一九年度スポーツ科学部卒)。「もっと堅苦しい雰囲気

ばかり。「長く中国に赴任していた経験をかさねて起業したところ。母校の風を感じながら、たくさんの方とつながることができました」と満面の笑み。また、帰省のタイミングで参加されたのは新聞社で支局長を務める林武志さん(一九九八年度経済学部卒)。「仕事以外で、世代の違う方とふれあう機会には少なく、一期一会の良い出会いに感謝しています」と、校友ならではのハートフルな交流に手応えを感じられた様子です。そして午後六時、「名刺交歓会だけでなく各支部の活動にも積極的にご参加ください」との瀧剛志校友会副会長の挨拶、一本締めでお開きとなりました。



梅村 清英 総長・理事長、中京大学長
相羽 由光 校友会長

校友に対する日頃の感謝の思いを述べられると共に、人文社会科学部研究科の博士後期課程が新設予定(二〇二六年度)であることをご報告。また長期計画NEXT 2033の進

を想像していましたが、皆さん、話しやすくて校友会のイメージが変わりました。知らないでいたらもったいない機会だと思えます」とうれしいご意見。同じく初参加の田村俊和さん(二〇〇四年度経営学部卒)は、人材紹介の会社を起業した



瀧 剛志 校友会副会長
関根 満子 校友会副会長

名刺交歓会に参加して



齋藤 芳子さん 株式会社 剛鍼
伊藤 潤子さん 個人事業主
1981年度 文学部卒
1981年度 文学部卒

学生時代は同じ学部、同じ写真部で寮生活も一緒。今日はそれぞれ愛知と愛媛から、大阪なら便利、と再会を兼ねて参加しました。部の集まりとも違う、世代や学部を超えた新たなつながりに仕事のご縁もいただきました。



小松ウオール工業株式会社
1990年度 法学部卒
能勢 英司さん
普段、異業種の方と話す機会が無く、考えや視野も固定的になりがちでしたので新鮮でした。仕事以外のつながりを持つのも面白い経験だと思います。

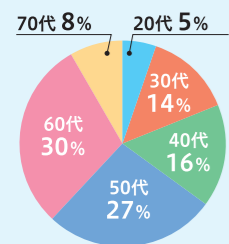


UNIIDEO株式会社
2019年度 スポーツ科学部卒
田島 未来さん
LINEでイベントを知って初参加。仕事の情報交換だけでなく、思いがけず恩師と再会。総長・理事長、学長との距離の近さにも驚いた貴重なひとときでした。

2025年度 大阪名刺交歓会 参加者プロフィール

今年度、大阪会場への参加者は37名。開催地の大阪、兵庫が約半数を占め、滋賀や福井、京都などから参加された校友もいらっしゃいました。また、出身学部はスポーツ科学部を中心に、ほぼ全学部からまんべんなく参加者を集めました。

年代分布



20~50代が参加者全体の62%を占めました。飛び石連休の影響も心配されましたが、昨年度より、わずかながら参加者割合を伸ばしたのが20代。フレッシュな風を運んでくれました。

業界分布

A 食品・飲食・衣料・総合店舗・専門店等	24%	G マスコミ・芸能・芸術・印刷・広告・デザイン等	5%
B 自動車・電力・燃料・部品・機器・資材・物流・運輸等	8%	H 情報・通信・IT・システム・コンピュータ等	3%
C 建設・住宅・不動産・公共工事・ビル・設備等	8%	I 総合商社・コンサルタント・専門職・派遣業等	11%
D 金融等	3%	J 教育・公共・公務員・各種連盟等	19%
E 医療・医薬・福祉・衛生・理美容・健康等	8%	K その他	6%
F 旅行・宿・レジャー・美術・スポーツ等	5%		

内田客員教授のご講演もあって、食品・飲食・衣料・総合店舗などの業界と、総合商社やコンサルタント業などで全体の3分の1以上を占める結果となりました。

新春賀詞交歓会

異業種交流

新春賀詞交歓会とは

中京大学校友会が集い、新年のあいさつを交わしながら、ビジネスの人脈づくりや交流の輪を広げる校友会主催のイベントが「新春賀詞交歓会」です。第20回となる今年度は2026年1月10日(土)、名古屋観光ホテルにて開催。冬らしく冷え込んだ朝となりましたが、校友一人ひとりの熱意が寒気を押し返したかのように穏やかな晴天に恵まれ、開始時刻前から多くの皆さまにお越しいただきました。

対談
テーマ

スポーツの力を人生と社会に活かす ～プロ選手の視点から～



来田 享子 中京大学副学長

1997年度 体育学研究科(博士後期課程)修了
スポーツ科学部・大学院スポーツ科学研究科教授、先端共同研究機構長、スポーツミュージアム館長。オリンピック史、スポーツとジェンダー研究を専門分野とする。日本学術会議連携委員会など、複数の要職を兼任。



田中 恒成 さん

2018年度 経済学部卒

元プロボクサー/株式会社Give Side 5 代表取締役。国体やインターハイ優勝など高校4冠。2013年にプロデビューし、日本最速で世界王座を獲得。2024年、世界最速で4階級制覇を達成するも翌年、度重なるケガにより引退。

元世界チャンピオンの攻めの生き方を前進する力に

第一部は、本学出身の元プロボクサー! 田中恒成さんと来田享子中京大学副学長による対談で幕を開けました。おなじみの入場ソングとともに元世界チャンピオンが登場すると、会場は割れんばかりの大拍手に包まれます。「スポーツの力を活かしてきたプロ選手の熱い思いが、皆さまの原動力になれば」と、来田副学長から対談開始のゴングが打ち鳴らされました。

プロデビュー五戦目で世界チャンピオンとなり、その後も最速記録を塗り替えながら複数階級で王座を獲得された田中さん。四階級制覇という偉業も、「あえて高い目標を掲げる」と「夢を『目標』に変えていくこと」で成し遂げられたそうです。モチベーションの維持については「習慣化」をキーワードに、「やるか、やらないか、という選択肢を自分に与えない」という思考法が披露されると、場内は感心しきり。来田副学長との軽妙なトークを通し、攻めのボク



シングスタイル同様、好きなことの中にある苦しさも含めて、前向きに取り組んでこられた田中さんのボクサーとしての生きざまが伝わってきました。
引退後はジムを開設され、ボクシングに「教育」という視点も取り入れて新たな一歩を踏み出された田中さん。これからも「ボクサーとしての生き方」を貫き、次世代をはじめ、人に勇気を与える存在であり続けたい、と語ってくださいました。

共感できる心をつなぎ、ビジネスの可能性が芽吹く春へ

世代や業種の壁を超え
積極的な交流を

第一部・新春賀詞交歓会は理事長表彰か

長、中京大学長は、学術とスポーツ、その両面での在学生の活躍ぶりを紹介されました。母校の一年間を総括しつつ、「今日は一人でも多くの方々と交流したい」と呼びかけられると場内の皆さまは、拍手で応じました。続いて乾杯の「ご発声は、安村仁志校友会顧問です。『校友生は本学の伝統も築いてくださいました。伝統とは『でん』と構えて、堂々』と守るもの。本日は皆さまの健闘(拳闘)ボクシング)をお祈りして乾杯!」とのユニークなかけ声に、笑顔あふれる賀詞交歓会が始まりました。

「はじめまして」でも
肩を組み、笑いあえる距離感

児玉優輝さん(二〇二四年度法学部卒)は社会人一年目。「上の世代とのつながりを求めて初参加。豪華な雰囲気は圧倒されましたが、気さくな先輩ばかりで緊張もほぐれました」と、ほっとした表情です。

「映像クリエイターとしてフリーランスになったばかり」というのは金田蒼平さん(二〇二三年度国際学部卒)。PR用のホワイボードを持って来られ、「多くの皆さん

に興味を持っていただけました」と手応えをつかむことができたようです。

高坂春奈さん(二〇一八年度国際教養学部卒)は職場で人事のご担当。「仕事の人脈や情報を求めて参加しましたが、業界別のテーブルで話しやすかったです」とのことでした。

「コロナ禍に学生時代を過ごし、先輩後輩の関係を築けなかった」という若い校友も、最後は先輩と肩を組んで学歌を斉唱。世代を超えた交流が自然と生まれ、参加者それぞれに実りあるひとときとなりました。

新春賀詞交歓会に参加して



エンパース不動産株式会社
2016年度 国際教養学部卒

不動産業界は横のつながりが大切ですが、一人つながるごとに次の方をご紹介いただける。そんなつながりの連鎖に驚きました。ぜひまた参加したいです。

朽名 恵里さん



株式会社アクセス ネクステージ
2015年度 国際英語学部卒

初めて一人で参加しましたが、リラックスして楽しめています。第一部の対談では、世界で闘うアスリートの苦勞も伝わり、私も頑張りたいと思えました。

田村 奈々さん



写真左から

豊永 大智さん
山内 涼平さん
中川 竜弥さん

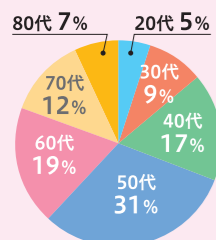
株式会社Do it
2022年度 経営学部卒

学生時代、3人で立ち上げたサークルの運営経験を生かして起業。「真剣味」で勝負しようと、今日は校友生全員にアドバイスをいただく覚悟で臨みました。

2025年度 新春賀詞交歓会 参加者プロフィール

新春賀詞交歓会への参加者は219名。ほとんどの方が愛知県内からの参加でしたが、東京や岡山、遠くは長崎から駆けつけた校友もいらっしゃいました。

年代分布



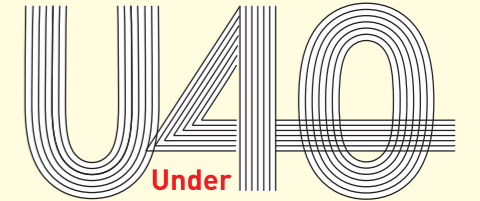
参加者のうちボリュームゾーンとなった世代は50代。20～40代は全体の約3分の1(約31%)を占め、社会経験5年未満という初々しい校友生の姿も見られました。

業界分布

A 食品・飲食・衣料・総合店舗・専門店等	6%	G マスコミ・芸能・芸術・印刷・広告・デザイン等	6%
B 自動車・電力・燃料・部品・機器・資材・物流・運輸等	8%	H 情報・通信・IT・システム・コンピュータ等	3%
C 建設・住宅・不動産・公共工事・ビル・設備等	13%	I 総合商社・コンサルタント・専門職・派遣業等	8%
D 金融等	7%	J 教育・公共・公務員・各種連盟等	21%
E 医療・医薬・福祉・衛生・理美容・健康等	8%	K その他	14%
F 旅行・宿・レジャー・美術・スポーツ等	6%		

全体のおよそ5分の1(21%)を教育関連が占め、(その他を除き)不動産業界、メーカー、総合商社など、あらゆる業界からまんべんなくご参加いただきました。

に、大勢の校友の皆さまにお集まりいただきました。ぜひ積極的に交流し、ビジネスにつながっていただきたい」とごあいさつ。
ご来賓を代表して梅村清英総長 理事



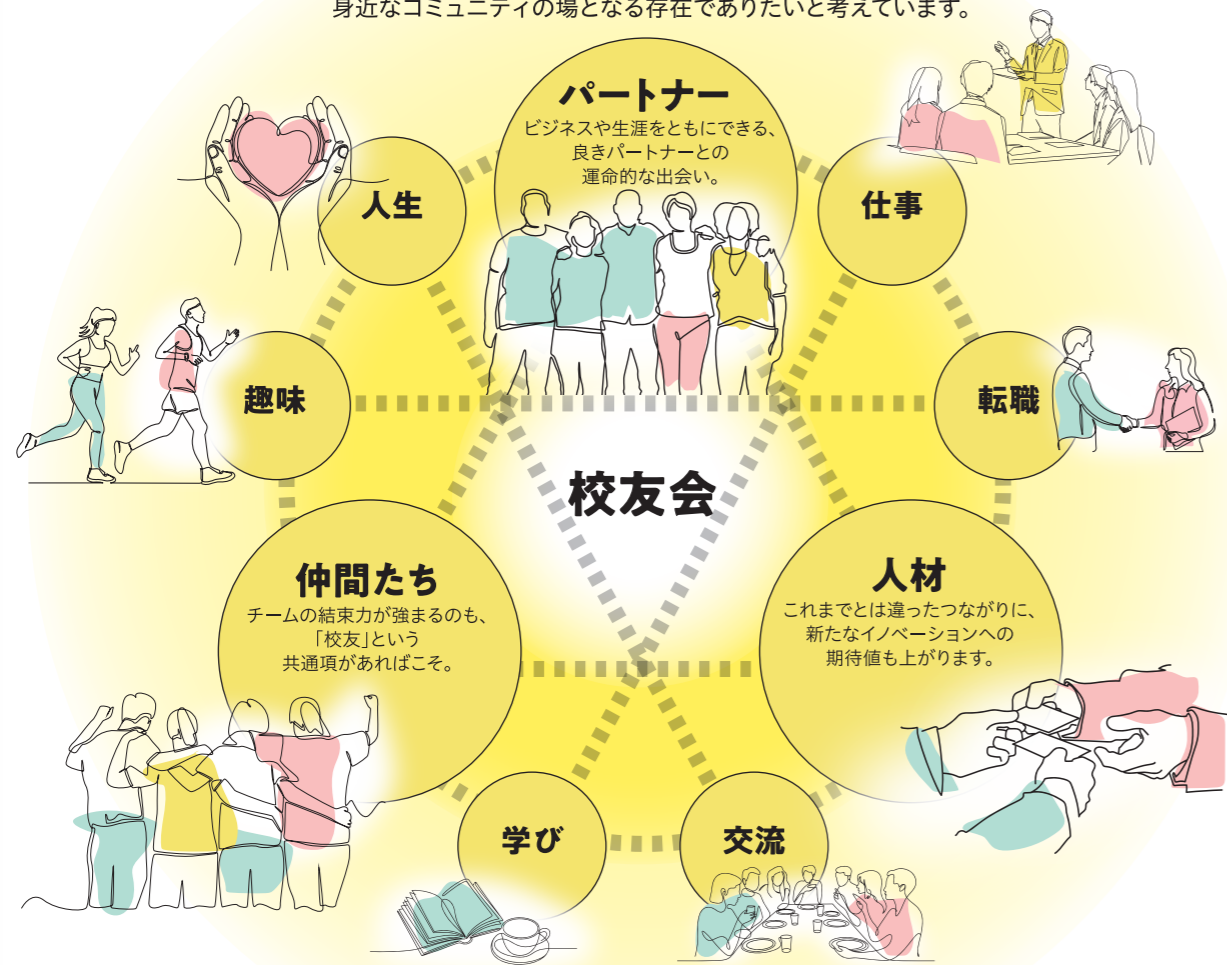
真剣味に新風を。

20代30代の皆さんにお聞きしました
**これからの校友会を
 より面白くするアイデアを
 ください。**

**つながることから
 『 』すること見つけにいこう**

人と人がつながって、初めて動き出す。
 人生にはそんな時間軸もあります。

次々と新しいモノやコトが生まれては淘汰されていく、変化の激しい時代。
 だからこそ私たちは、「絆」という目に見えないものに、確かな手応えや未来の可能性を感じるのかもしれない。
 人と人がつながることで生まれる『 』を見つけるために。
 「中京大学校友会」は、それぞれの思いを持ち寄って参加できる
 身近なコミュニティの場となる存在でありたいと考えています。



**現在、進行中の企画
 マッチング企画**

- 1 プレ転職／人材課題支援**
- 2 出合いのサポート**
- 3 カジュアルな食事会／交流会**

多彩なイベントを開催予定！どうぞお気軽にご参加ください。

**誰かとつながりたい、
 にエールを**

中京大学校友会では、校友の皆さまの声をもとに、15万人を超えるネットワークを活かし、さまざまなマッチングをサポートする取り組みを展開していきます。
ますます楽しく、ワクワクする組織へ。
 これからの校友会にご期待ください。

Q.1

「校友会」のイメージは？

A.1

「新春賀詞交歓会」に初めて参加しましたが、想像していた以上に **アットホームな雰囲気** で盛り上がっていることに驚きました。



中京大学の卒業生や在学学生を含めた、**「人と人のつながり」** を大切にされているイメージがあります。

学生生活を謳歌し、その後も先輩後輩や友人など、**当時の関係性が強く残っている人の集まり** で成り立っている印象があります。

若手がない、特に **20代の人** が参加していないイメージですね。40代、50代の先輩たちは結束力も強く、皆さん活発に校友会を活用されている気がします。

Q.2

校友会がさらに魅力的な組織となるためのアイデアを！

A.2

校友会の幹事は大変 で誰もやりたがりません。企画から運営まで、校友会にお願いできれば、もっと気軽に大勢の人が集まり、活発な組織になるのでは？

校友会の存在自体、知らない人も多いと感じます。気軽に参加できる **SNSを通じた「機会」と「周知」** が必要かと思っています。

校友会の目的を明確化 すること。また、年代別（20～30代、40～50代など）や業界別の組織、**女性だけの校友会** があっても面白そうですね。

ビジネスの紹介案件が発生しやすいよう、**業種ごとのWEB窓口** があってもいいのでは？ 校友限定割引など、お値打ち感があるとさらにうれしいですね。

Q.3

校友会のどのようなイベントであれば参加したいと思いますか。

A.3

子どものころ、卒業生の父に連れられてホームカミングデーに参加しました。それが受験のとき、中京大学に関心を持った理由の1つです。**もっと親子で参加できる企画を増やしては？**



営業職です。名刺交歓会に初めて参加しましたが、**業種別や目的別など、位置づけを明確に区分** すると参加しやすくなる気がします。

リニューアルした **食堂でカジュアルな夕食会** があったら気軽に参加しやすそう。子育てをしながら働くOB・OGのための交流会や講演会などのイベントもぜひ！

今後の **キャリアアップの参考** にできるよう、ロールモデルとなるような先輩（30代で2、3回の転職経験者など）の話聞いてみたいです。



宮城県支部

支部長 佐藤 幸博
 卒業年度・学部 1976年度 商学部
 支部への連絡先 s7.2s.3ks@gmail.com




宮城県支部の活動強化のため、グループLINEを活用しています。未加入の方は、この機会にぜひご参加ください。知らない電話番号からの迷惑電話より、知っている人から届くLINEはとても便利です。時間短縮、経費節減にも有効です。



友達募集中!

秋田県支部

支部長 佐藤 政一
 卒業年度・学部 1969年度 体育学部
 支部への連絡先 018-892-2792(FAX可)




2027年、北海道・東北ブロック支部長会とともに秋田県支部校友会を10年ぶりに開催する予定です。今回は支部長不在だったため、その後、正副支部長を自薦・他薦で決めましたが、活動らしいことはほとんどしておりません。校友会の皆さま、知人と連絡を取り合ってください。

山形県支部 イベント開催

支部長 石川 宏
 卒業年度・学部 1976年度 体育学部
 支部への連絡先 0238-23-1982




山形県支部校友会を2026年10月3日(土)に開催する運びとなりました。日頃はなかなか連絡を取り合うことも少ないかと思いますが、これを機に県内各地の校友と再会し、親交を深めていただければ幸いです。同学年・同地区・同じ部活動の仲間などにお声がけいただき、一人でも多くの皆さまにご参加いただけますようお願いいたします。

イベント 2026年10月3日(土)予定【30ページ参照】

福島県支部

支部長 山内 光樹
 卒業年度・学部 1975年度 体育学部
 支部への連絡先 up175512-7824@tbz.t-com.ne.jp




2023年の支部会以降、特に活動はできていません。昨年は宮城県支部校友会に参加し絆の大切さを再認識しました。今後はLINE等も活用して横のつながりを強化したいと思います。2026年度は11年ぶりに教育実習も予定され喜んでます。東日本大震災から15年。まだ道半ばですが、会員の連携が深まるようご協力をお願いします。

SPECIAL REPORT

各支部からのたより

全国46都道府県支部、海外5支部と、各地でさまざまな活動を展開している校友会支部。お住まいの地域の支部が、どんな活動をしているのか。今後の活動計画を2026年度の行事予定と併せてご紹介させていただきます。各支部の活動にどうぞご参加ください。

イベント開催 イベントの詳細については各支部にお問い合わせください。

北海道・東北ブロック

北海道支部

支部長 高井 雅一
 卒業年度・学部 1975年度 体育学部
 支部への連絡先 s.kasuya@ishi-taikyo.or.jp(事務局長 糟谷)




2025年度の北海道支部総会・懇親会を8月9日(土)、7年ぶりに旭川市で開催しました。花田理事をはじめ、上川地区の皆さまには大変お世話になりました。懇親会には大学・校友会本部から4名のご出席をいただくことができました。また11月29日(土)には学校部会および懇親会を開催し、役員改選も行いました。

青森県支部

支部長 米内 正明
 卒業年度・学部 1972年度 体育学部
 支部への連絡先 090-3364-5021




ついに「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」の開催年となりました。県内全域でさまざまなイベントが催され、青森県全体が国スポムードに沸いています。各都道府県の国スポ役員、競技役員、選手の皆さまのご活躍をお祈りします。校友の皆さま!この機会に、自然の美しさや秋の味覚を堪能しがてら青森県へお越しください。

岩手県支部

支部長 田村 雄孝
 卒業年度・学部 1969年度 体育学部
 支部への連絡先 090-4886-7750(SMS可/事務局長 佐藤義文)




10月4日(土)、北海道・東北ブロック支部長会がありました。その中で各支部の活動状況があまり思わしくないとの報告がありました。当支部も会員の高齢化が進み活動が停滞気味です。役員の刷新を図り、SNS等も活用しながら活発化を図ろうと努めております。若年層の会員を増やし、校友の輪をさらに深めたいと考えています。

中京大学校友会

1958(昭和33)年、「会員相互の親睦と中京大学の発展に寄与すること」を目的に発足した中京大学校友会。(2019年4月～名称変更)
 発足当時は商学部のみ、第1期卒業生が巣立った翌年度のことでした。
 その後都道府県ごとに支部が立ち上がり、学校部会や学部校友会、さらには海外支部と、現在では全83の支部や部会、卒業生数約15万人という大きな組織に発展しています。

支部一覧

<p>46支部</p> <p>都道府県支部</p> <p>ブロック別</p> <p>北海道・東北 / 関東 / 中部 / 近畿 / 中国・四国 / 九州・沖縄</p>	<p>5支部</p> <p>海外支部</p> <p>台湾 / カナダ / オーストラリア / アメリカ / アメリカ東部</p>	<p>6部会</p> <p>学部・大学院校友会</p> <p>法学部 / 文学部 / 心理学部 / 社会学部・現代社会学部 / 経済学部 / スポーツ科学研究科 ※各学部には大学院修了生も含む</p>
<p>16地区</p> <p>学校部会</p> <p>愛知県 / 八豊会(愛知県) / 豊田みよし地区(愛知県) / 知多地区(愛知県) / 岡崎地区(愛知県) / 尾張地区(愛知県) / 愛知県立高等学校部会 / 特別支援教育部会(愛知県) / 私立学校部会(愛知県) / 北海道 / 富山県 / 石川県 / 山梨県 / 岐阜県 / 静岡県 / 三重県</p>	<p>4部会</p> <p>警察部会</p> <p>愛知県 / 岐阜県 / 三重県 / 山梨県</p>	<p>6部会</p> <p>その他の職域部会</p> <p>愛知県庁 / 名古屋職員 / アドバイザーの会 / 豊田市職員 / 不動産会 / オリンピアンズの会</p>

校友会役員紹介 | 会長・副会長

<p>【会長】</p> <p>相羽 由光 1972年度 商学部 1974年度 商学研究科</p>	<p>【副会長】</p> <p>竹尾 悟 1969年度 文学部</p>	<p>鈴木 揚一 1977年度 体育学部 1982年度 体育学研究科</p>	<p>神谷 真吾 1982年度 体育学部</p>	<p>筏津 謙二 1982年度 体育学部</p>	<p>種田 行男 1983年度 体育学研究科</p>
<p>高橋 繁浩 1983年度 体育学部 1986年度 体育学研究科</p>	<p>関根 満子 1990年度 法学部</p>	<p>瀧 剛志 1993年度 情報科学部 1998年度 情報科学研究科</p>	<p>平澤 誠 1993年度 経済学部 1998年度 経済学研究科</p>	<p>寺尾 悟 1997年度 社会学部</p>	<p>森田 大延 1997年度 経営学部</p>
<p>梅村 利恵 1999年度 法学部</p>	<p>明詠 光宜 2001年度 文学部 2003年度 心理学研究科</p>	<p>松村 亜矢子 2003年度 経営学部</p>			

▶長野県支部

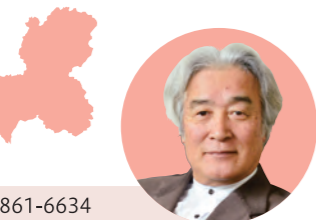
支部長	辺見 元孝
卒業年度・学部	1981年度 体育学部
支部への連絡先	ybski2000@yahoo.co.jp



長野県支部では年1回、支部会を開催しています。行事はそれだけですが、昨年度に作成したグループLINEへの登録者が増えています。LINEでは個別に情報交換ができ、各地域での活躍ぶりも伝わって良い関係づくりになっています。支部活動へも参加しやすくなるでしょうし、今後は人数をさらに増やしていくことが目標です。

▶岐阜県支部 イベント開催

支部長	山田 良穂
卒業年度・学部	1969年度 商学部
支部への連絡先	yamaco1414@yahoo.co.jp・090-7861-6634



2025年10月18日(土)、中部ブロック支部長会を開催。次世代につながるイベントや校友の掘りおこし、全員参加型のネットワークで新地区発足と活動の活性化を図る方針です。また東濃地区会が始動。2026年7月18日(土)、土岐市で創立総会開催予定です。



友達募集中!

イベント 2026年7月18日(土)予定

▶静岡県支部 イベント開催

支部長	杉山 仁夫
卒業年度・学部	1974年度 体育学部
支部への連絡先	090-7680-8197



静岡県支部の特色は女性の参加が多いことです。女性部も発足し、グループLINEでつながっています。今後は支部の活性化のため、まずは県内を3つのエリアに分けて小規模の集まりを開催することです。そして2つ目はLINEオープンチャットの開設です。どこまでできるかわかりませんが、やれることから実践したいと思います。

イベント 2026年11月28日(土)予定

▶近畿ブロック

▶三重県支部 イベント開催

支部長	豊田 利一
卒業年度・学部	1968年度 経営学部
支部への連絡先	kazuken0501@gmail.com (事務局 馬場 一美)・090-8551-3979

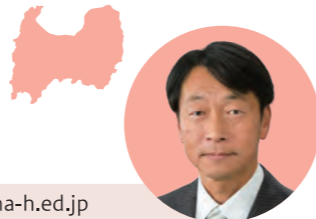


三重県支部の総会・懇親会は、毎年11月23日(祝)を予定し準備を進めています。昨年は梅村清英総長・理事長、中京大学長にご出席いただき、参加した校友は大喜びでした。2026年も来ていただけるようお願いをしました。より多くの皆さまに「参加したい」と思っていたらよい、さまざまなイベントも検討中です。お待ちしております。

イベント 2026年11月23日(月・祝)予定

▶富山県支部 イベント開催

支部長	北山 豊
卒業年度・学部	1991年度 社会学部
支部への連絡先	kitayama.yutaka@ryukokutoyama-h.ed.jp



2026年10月17日(土)、中部ブロック支部長会に合わせて、富山県支部会を開催します。詳細については、校友会事務局センターよりお知らせいただきますが、何かあれば北山に直接ご連絡いただいてもかまいません。この機会に旧友と連絡をとっていただき、「再会と食事」とともに楽しみましょう。ぜひご出席ください。

イベント 2026年10月17日(土)予定【30ページ参照】

▶石川県支部 イベント開催

支部長	此内 章 新支部長
卒業年度・学部	1975年度 法学部
支部への連絡先	090-1782-6490(事務局 出澤)

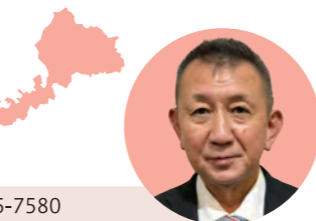


2024年の震災と豪雨災害により、未だ仮設住宅等での生活を余儀なくされている方は多くいますが、農業や伝統行事の再開・復活など、県民生活は徐々に活気を取り戻しつつあります。校友会より卒業生106名に対して、見舞金をご支給いただきましたこと、支部を代表して改めて厚くお礼申し上げます。

イベント 2026年12月12日(土)予定

▶福井県支部

支部長	寺腰 聡
卒業年度・学部	1981年度 体育学部
支部への連絡先	ts268334@ton21.ne.jp・090-2035-7580



2025年12月6日(土)に福井県支部総会・支部会を総勢30名で開催しました。初参加者は1名で、幅広い年齢層がともに楽しく、和気あいあいと過ごせました。今回は「名刺交歓会」を行い、多くの会員がつながりを持ってました。講演会も宝山氏の後継者育成実践発表に参加者一同、大いに感銘を受けました。次回開催が楽しみです。

▶山梨県支部

支部長	山下 正人
卒業年度・学部	1971年度 体育学部
支部への連絡先	kyukihiro78@gmail.com(事務局 北川)



近年、母校の充実・発展ぶりや、校友の世界的な活躍を誇らしく感じています。中部ブロック支部長会以降、目立った活動はしていませんが、今年度は、山梨県支部校友会の総会開催(1月・2月頃)に向けて準備をしています。今後に向けて一人でも多くのご参加をいただけるよう、ご協力をお願いいたします。

▶千葉県支部

支部長	新村 浩章
卒業年度・学部	1983年度 体育学部
支部への連絡先	h.nimr531@xa2.so-net.ne.jp



2025年度、千葉県では2年ぶりとなる支部会を2026年2月14日(土)に開催いたしました。次年度の校友会通信において開催報告をさせていただきます。これからも多くの会員の皆さまとつながりを築けるよう、支部長として頑張っております。

▶東京都支部

支部長	三宅 祐一郎
卒業年度・学部	1987年度 商学部
支部への連絡先	yu.miyake88@i.softbank.jp



2025年7月26日(土)に開催した今年度の支部会には、1980年度卒から2024年度卒まで、幅広い年代の校友30名が参加しました。他支部と異なり部活動経験者は8名と少数ながら、前回に続いて和やか、かつ活発に盛り上がりました。次回は再来年、関東ブロック支部長会と同開催予定です。皆さまの参加を心よりお待ちしております！

▶神奈川県支部

支部長	諸石 晃
卒業年度・学部	1982年度 体育学部
支部への連絡先	a.moroishi@gmail.com

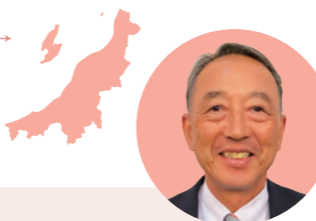


2027年、南関東ブロックで開催予定のインターハイにて、神奈川県では陸上競技・バスケット(男子)・相撲・自転車競技・体操競技および総合開会式が行われます。2025年から準備が始まっています。暑熱対策のため競技日程や競技方法にも課題は残るものの、しっかりと準備をして全国の皆さまをお待ちしています。

▶中部ブロック

▶新潟県支部

支部長	山田 秀樹
卒業年度・学部	1980年度 体育学部
支部への連絡先	hide-224@topaz.plala.or.jp



2025年8月30日(土)、本当に久しぶりに新潟県支部校友会を参加者34名で盛大に開催しました。「中京大学の今昔」と題したDVDでは、名古屋・豊田キャンパスを懐かしみつつ、大きく変化した母校の姿に皆、驚いていました。今回、出席できなかった会員にも機会を見つけて声をかけ、会の活性化に努めていきたいです。

▶関東ブロック

▶茨城県支部

支部長	塚本 浩一
卒業年度・学部	1983年度 体育学部
支部への連絡先	yuichi0219@icloud.com(事務局 中村)



昨年10月、関東ブロック支部長会に合わせ、2年ぶりとなる支部会を開催しました。梅村清英総長・理事長、中京大学長ご夫妻をはじめ、校友会本部のご支援を賜り、盛大に催すことができました。和やかな雰囲気の中で語り合い、つながりの大切さを改めて実感する時間となりました。今後も継続的に活動していきたいと思っております。

▶栃木県支部 イベント開催

支部長	渡辺 成美
卒業年度・学部	1984年度 体育学部
支部への連絡先	naruw@tvoyama.ne.jp



2026年の10月に宇都宮市で栃木県支部会の開催を予定しています。これまで活動らしい活動はできていませんが、多くの会員が参加できるよう準備を進めて参りますので、どうぞお気軽にご参加ください。皆さまとお会いできることを楽しみにしています。また、会員の活躍や情報などがありましたら遠慮なくご連絡ください。

イベント 2026年10月10日(土)予定【30ページ参照】

▶群馬県支部

支部長	阿部 浩一
卒業年度・学部	1989年度 文学部
支部への連絡先	abe@maebashiikuei-h.ed.jp



母校の目覚ましい発展を大変うれしく誇りに思います。群馬県支部も母校発展の一助となれますよう、微力ながら貢献したいと考えていますが、現状、主だった活動はできていません。連絡の取れていない校友会員も多く、ぜひ皆さまにお声がけいただき、支部の連携を推進していきたいと考えております。よろしくお祈りいたします。

▶埼玉県支部

支部長	小島 正喜
卒業年度・学部	1972年度 体育学部
支部への連絡先	takeda.atsushi.63@spec.ed.jp(県学校部会長 武田)



2025年度の支部校友会を今年も3月に開催する予定で、その準備役員会を10月に開きました。開催にあたっては、懇親会の案内を校友会事務局センターより発送していただけることとなり、より多くのご参加を期待しております。埼玉県支部は、毎年続けてきたこのイベントをこれからも継続できればと思っております。

▶ 香川県支部

支部長 三好 利宏

卒業年度・学部
1984年度 体育学部

支部への連絡先
090-1574-9281



香川県としての活動ができておらず、何とかせねばと思いながら月日が過ぎていきます。今後、会員同士、各方面でつながっていきたくと思っています。多くの校友の皆さまからご意見やアイデアをいただき、少しずつでも活動を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

▶ 愛媛県支部

支部長 定岡 孝明

卒業年度・学部
1980年度 体育学部

支部への連絡先
matsu.j.0327@ezweb.ne.jp (担当: 松浦 淳祐)




ここ数年、とくに目立った活動はできていません。2028年に支部会を開催予定であり、今後、各地域や小規模の集まりを開催できるよう努力していきたいと考えています。どうぞご協力をお願いいたします。LINEグループも立ち上げておりますので、ぜひともご参加ください。

▶ 高知県支部 イベント開催

支部長 濱口 恭男 **新支部長**

卒業年度・学部
1992年度 体育学部

支部への連絡先
090-3957-8233 (事務局 増田)



尾木文治郎前支部長よりバトンを引き継ぎ、このたび支部長を務めさせていただくこととなりました。初めての大事で至らぬ点もあるかと存じますが、皆さまが気軽に集える温かな会を目指してまいります。交流とつながりを大切に、会員の皆さまとともに支部を盛り上げたいと考えております。何卒よろしくお願いいたします。

イベント 2026年5月30日(土)・31日(日)予定

中国・四国ブロック

▶ 福岡県支部

支部長 大久保 浩三 **新支部長**

卒業年度・学部
1981年度 体育学部

支部への連絡先
090-5725-5832 (SMS可)




この度、武尾一三前支部長からバトンを受けました大久保です。どうぞよろしくお願いいたします。早速、2026年3月7日(土)に福岡県支部会を開催いたしました。同じ学び舎とともに過ごした者同士、横のつながりを強くすべく努めてまいりたいと思います。多くの方々のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

▶ 岡山県支部 イベント開催

支部長 根木 克巳 **新支部長**

卒業年度・学部
1981年度 商学部

支部への連絡先
neki@system-ties.co.jp



福島前支部長より伝統ある岡山県支部の支部長を引き継ぎました。校友の皆さまとの絆を深め、世代を超えて交流と学びを広げる温かい会にしていきたいと思います。校友会の活動を通して刺激を受け合い、母校や岡山県の発展につながることを願っています。今回は2026年9月26日(土)にイベント開催予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

イベント 2026年9月26日(土)予定

▶ 広島県支部

支部長 高畑 伸穂

卒業年度・学部
1979年度 体育学部

支部への連絡先
nkoo21nk@yahoo.co.jp



2024年10月に開催した広島県支部会を機に、新たな絆づくりと情報提供・支部内交流を目的として『中京大学校友会広島県支部公式LINE』を立ち上げています。広島県支部の皆さまの参加をお待ちしています。お近くの支部役員まで気軽にお尋ねください。今後も未来志向の絆づくりに取り組んでいきます。

▶ 山口県支部

支部長 畦森 本英 **新支部長**

卒業年度・学部
1982年度 文学部

支部への連絡先
m-unemori@hayatomo.jp




長年、山口県支部長をされていた浜岡氏から支部長を引き継ぎ、支部校友会を機に新体制で臨むこととなりました。山口県の出身者は決して多くありません。卒業後もなかなか地元に戻って来ない、来られない。そのような状況の中で、いかにして「山口県支部の活動」を活性化させてゆか。課題も多いのが実状です。

▶ 徳島県支部 イベント開催

支部長 武田 元成

卒業年度・学部
1990年度 社会学部

支部への連絡先
090-2892-0753 (SMS可)



2026年10月24日(土)、徳島では9年ぶりとなる中国・四国ブロック支部長会および徳島県支部会を開催します。当日は、大学関係者を多数お迎えする予定です。幅広い年齢層の方々にお集まりいただき、校友の絆を深めていただければと思います。改めてご案内しますので、皆さまのご協力とご参加をお願いいたします。

イベント 2026年10月24日(土)予定【30ページ参照】

▶ 奈良県支部

支部長 高見 喬宏

卒業年度・学部
1967年度 体育学部

支部への連絡先
0745-82-3426



コロナが5類に移行し、普段の諸活動が再開される中、奈良県支部においても支部会の再開を検討しているところです。開催に際しては旧交を温めるだけでなく、お互いのビジネスにも役立つような人脈づくりのできる会にしていきたいと考えています。皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

▶ 和歌山県支部

支部長 藤村 利行

卒業年度・学部
1978年度 体育学部

支部への連絡先
ryu-1130-1230@outlook.jp (事務局 久保隆作)



和歌山県支部では、ここ数年、活動らしき活動ができていない状況にあります。現在、会員の皆さまが気軽に集える企画を計画的に実施するため、次の世代を担う若い方や女性を中心とした支部体制の見直しを図っております。会員の皆さまには、今後とも積極的なご協力とご参加をお願い申し上げます。

中国・四国ブロック

▶ 鳥取県支部 イベント開催

支部長 谷本 裕則

卒業年度・学部
1973年度 法学部

支部への連絡先
090-7127-1100 (SMS可)



今年秋に鳥取県支部校友会の開催を予定しています。2023年以来、3年ぶりとなります。今回は中国・四国ブロック支部長等のご来賓を含め、総勢43名での開催でしたが、今回は鳥取県の単独開催です。母校の現状やお互いの近況などを知ることのできる良い機会ですので、気軽に参加し、会話をお楽しみください。お待ちしております。

イベント 2026年11月14日(土)予定

▶ 島根県支部 イベント開催

支部長 坂本 弘

卒業年度・学部
1984年度 体育学部

支部への連絡先
080-2893-2551 (事務局 佐藤 城)



2025年9月27日(土)、島根県支部会を松江市で開催しました。次年度も9月26日(土)に開催予定です。世代を超えて親睦を深めながら、校友同士のつながりを広げる良い機会となります。ぜひご予定いただき、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

イベント 2026年9月26日(土)予定

▶ 滋賀県支部

支部長 松永 哲也 **新支部長**

卒業年度・学部
1995年度 経済学部

支部への連絡先
chukyo.shiga@gmail.com



2025年度も滋賀県支部総会・支部会を開催し、学生時代の話や近況報告等で盛り上がり、初参加者も含めて親交を深めました。母校のご縁に感謝し、今後も支部の活性化に努めたいと思います。新支部長となり、次期役員会の準備も進行中です。

▶ 京都府支部 イベント開催

支部長 池本 敬博

卒業年度・学部
1978年度 体育学部

支部への連絡先
iketurn@meiji-u.ac.jp



会員の世代間を超えた交流の場を持ちたいと、LINEアカウントの活用を進めています。また、今年度は京都府支部の交流会も企画する予定です。校友の輪を広げて「和合」を深めてまいりましょう。一人でも多くのご参加をお待ち申し上げます。

イベント 2026年12月予定

▶ 大阪府支部 イベント開催

支部長 中岡 英彦

卒業年度・学部
1976年度 体育学部

支部への連絡先
hidehiko540921@gmail.com



コロナ禍以降、大阪府支部での支部総会・懇親会は開催できておりません。しかしながら2026年度は開催させていただく予定です。校友会員の皆さまにはお誘いあわせの上、ふるってご参加いただきますようお願いいたします。

イベント 2026年11月14日(土)予定【30ページ参照】

▶ 兵庫県支部

支部長 井内 義延

卒業年度・学部
1969年度 体育学部

支部への連絡先
suga793906@outlook.jp (事務局 菅原 勝則)



2025年11月15日(土)、近畿ブロック支部長会をANAクラウンプラザホテル神戸で開催しました。支部長会では、校友会事務センターから①発展の施策②役員後継者の育成方法③LINEアカウント登録案内など支部活性化についての提案があり、共通理解を図ることができました。懇親会には38名が参加し校友の絆を深めました。

海外支部

▶ オーストラリア支部

支部長 平原 照仁

卒業年度・学部
1989年度 社会学部

支部への連絡先
teruhito.hirahara@gmail.com



▶ 中華民国(台湾)支部

支部長 黄 文成

卒業年度・学部
1981年度 体育学部

支部への連絡先
lines@yuntech.edu.tw (事務局 林恩賜)



▶ カナダ支部

支部長 林 大輔

卒業年度・学部
1993年度 体育学部

支部への連絡先
noppaseiji@hotmail.com (事務局 野原 誠治)



▶ アメリカ合衆国支部

支部長 立川 正孝

卒業年度・学部
1966年度 商学部

支部への連絡先
iida.uni@gmail.com (飯田)



▶ アメリカ合衆国東部支部

支部長 石塚 由紀 新

卒業年度・学部
1972年度 商学部

支部への連絡先
yukinyc@gmail.com



▶ 宮崎県支部

支部長 有吉 剛信 新支部長

卒業年度・学部
1991年度 体育学部

支部への連絡先
090-3076-7030



2025年11月8日(土)に九州・沖縄ブロック支部長会および宮崎県支部会を開催しました。梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ校友会本部から7名のご参加をいただき、盛会に終わることができました。これを機に宮崎県支部会をさらに活性化していきたいと思っております。ご参加いただいた皆さま、本当に有り難うございました。

▶ 佐賀県支部

支部長 佐保 文明

卒業年度・学部
1970年度 体育学部

支部への連絡先
sahofumiaki@gmail.com



佐賀県では2024年、九州・沖縄ブロック支部長会および佐賀県支部会を開催しました。当日は、県内全域からたくさんの校友の皆さまにご出席をいただき、久しぶりに顔を合わせて楽しいひとときを過ごすことができました。この機会をさらに広げたいと思っております。佐賀県内の校友の皆さまにぜひお声をかけていただきますようお願いいたします。

▶ 鹿児島県支部 イベント開催

支部長 肥後 六男

卒業年度・学部
1970年度 商学部

支部への連絡先
080-4691-6407



2026年11月7日(土)、九州・沖縄ブロック支部長会および鹿児島県支部会を鹿児島市で開催します。大学の先生方もお迎えし、世代を超えて中京大学での思い出話に花が咲くはず。性別や年齢、学部などに関係なく、皆さまで盛り上がり、楽しんでいただけたらと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

イベント 2026年11月7日(土) 予定【30ページ参照】

▶ 長崎県支部

支部長 山野 和則

卒業年度・学部
1980年度 体育学部

支部への連絡先
090-7581-5158(SMS可)



長崎県支部は、1977年に体育学部有志3名でスタートし、2026年度設立50周年を迎えます。歴代支部長や事務局長のご尽力により、コロナ禍の3年間を除き、一度も欠かすことなくつないでこられたことを誇りに思います。設立時の熱い志に思いを馳せつつ、学部の枠を超え、みんなで祝いましょう。

▶ 沖縄県支部

支部長 大城 良孝

卒業年度・学部
1974年度 体育学部

支部への連絡先
090-1948-2840



コロナ禍や台風の影響で開催できなかった沖縄県支部会を2025年2月、7年ぶりに開催しました。大学から先生方をお迎えし、本県の芸能披露からスタート。大学の近況を知り、再会の喜びに包まれて至福の時間を過ごすことができました。

▶ 熊本県支部 イベント開催

支部長 陶山 三千也

卒業年度・学部
1978年度 体育学部

支部への連絡先
suyama.michiya8@gmail.com



2027年、九州・沖縄ブロック支部長会および熊本県支部会が7年ぶりに開催予定です。今年(2026年)は熊本県支部総会の開催を予定しており、心待ちにしておられることと思います。ご案内をいたしますので、校友へのお声がけとともに会場へ足を運び、世代を超えた絆を深めていただければと思います。ご協力お願いいたします。

イベント 2026年に予定

▶ 校友会インフォメーション | ブロック別支部長会・支部校友会 開催予定(2026~2032年度)

ブロック	都道府県名	会員数 (住所判明者)	西暦								
			26	27	28	29	30	31	32		
北海道・東北7道県	北海道	525			○						
	青森	131							○		
	岩手	125				○					
	宮城	127								○	
	秋田	145		○							
	山形	121	○								
	福島	152						○			
関東7都県	茨城	249									○
	栃木	201	○								
	群馬	325				○					
	埼玉	408			○						
	千葉	448					○				
	東京	714		○							
	神奈川	560								○	
中部8県	新潟	531				○					
	富山	1,778	○								
	石川	1,580		○							
	福井	1,478									
	山梨	269						○			
	長野	1,949			○						
	岐阜	9,799									○
静岡	5,340									○	

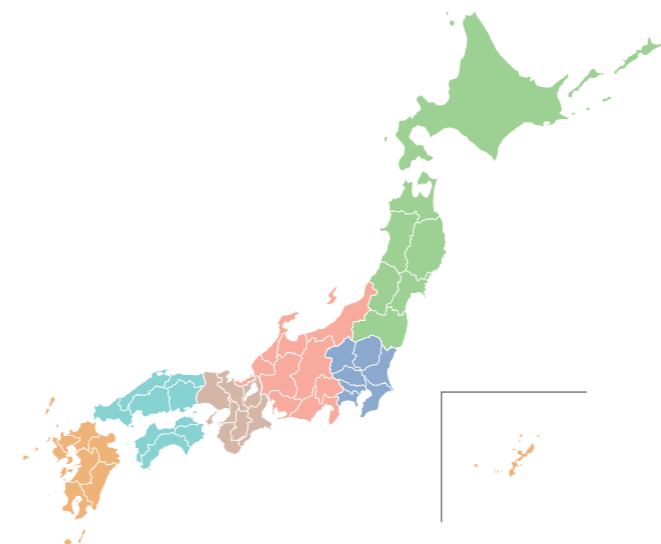
※各都道府県支部校友会は、原則として7年に1度の開催になります。
○・・・ブロック別支部長会 住所判明者は2025年10月現在

ブロック	都道府県名	会員数 (住所判明者)	西暦								
			26	27	28	29	30	31	32		
近畿7府県	三重	8,220								○	
	滋賀	1,488			○						
	京都	918							○		
	大阪	1,269	○								
	兵庫	2,117									○
	奈良	459		○							
	和歌山	750				○					
	鳥取	433								○	
	島根	498				○					
	岡山	962									
中国・四国9県	広島	1,188								○	
	山口	529									○
	徳島	710	○								
	香川	809		○							
	愛媛	689			○						
	高知	519				○					
	福岡	561							○		
	佐賀	209								○	
	長崎	286				○					
	熊本	236		○							
九州・沖縄8県	大分	293				○					
	宮崎	317									○
	鹿児島	345	○								
	沖縄	337									

▶ 2026年度 ブロック別支部長会及び支部会開催予定(校友会事務センター共催分)

地区	支部	開催日	開催地	会場	住所	アクセス	電話番号
北海道・東北	山形県	10月3日	山形市	ホテルメトロポリタン山形	〒990-0039 山形県山形市香澄町1丁目1-1	JR山形駅直結	023-628-1111
関東	栃木県	10月10日	宇都宮市	ホテルニューイタヤ	〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り2丁目4-6	JR宇都宮駅西口より徒歩約5分	028-635-5511
			富山市	ホテルグランテラス富山	〒930-0004 富山県富山市桜橋通り2-28	JR富山駅南口より徒歩約7分	050-1807-4295
中国・四国	徳島県	10月24日	徳島市	ザ・グランドパレス徳島	〒770-0831 徳島県徳島市寺島本町西1-60-1	JR徳島駅より徒歩約3分	088-626-1111
九州・沖縄	鹿児島県	11月7日	鹿児島市	ホテルマイステイズ鹿児島天文館	〒892-0844 鹿児島県鹿児島市山之口町2-7	JR鹿児島中央駅より市電「高見馬場」下車徒歩約2分	099-224-3211
近畿	大阪府	11月14日	大阪市	新大阪ワシントンホテルプラザ	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-5-15	JR新大阪駅1階正面口より徒歩約5分	06-6303-8111

※ブロック別支部長会の基本的な開催時間は16時~17時50分、支部会開催時間は18時~20時になります。

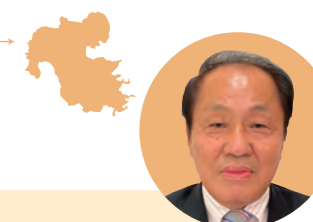


▶ 大分県支部

支部長 森本 秀治

卒業年度・学部
1971年度 体育学部

支部への連絡先
090-9656-3188(SMS可)



2029年には九州・沖縄ブロック支部長会および大分県支部会が開催される予定です。それまでに支部組織の体制づくりが間に合いましたら幸いです。県内にお住まいの校友の皆さまには、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

「校友会」開催報告

2025年度は新たな校友会の発足や初めての親睦会が開催されるなど、各都道府県支部や学校部会、クラブだけでなく、多くの校友の皆さまにご参加いただける機会が増えました。

2025年度 行事開催数…49会場

■ 学部・研究科 …… 3	■ 職域部会 …… 3
■ 海外支部 …… 2	■ クラブ …… 4
■ 都道府県支部 …… 25	■ その他 …… 3
■ 学校部会 …… 9	

2025年1月～2026年1月の間の開催分を掲載しています。



海外支部 カナダ支部会

五月二十四日(土)、カナダ・バンクーバーにて「校友会カナダ支部会」が開催されました。
当日は、梅村清英総長・理事長、中京大学長、梅村利恵校友会副会長をはじめとする大学関係者にご臨席いただき、心温まるご挨拶を賜りました。
また、日頃よりご尽力いただいている林支部長、上遠野顧問を含めた皆さまとの交流は、母国を離れて暮らす校友の励みであり、笑顔と喜びに満ち、絆の深まりを実感するひとときとなりました。
最後に、カナダ支部の顧問を長年にわたり務めてくださった山下さんのご逝去をここに記し、心から感謝と哀悼の意を表します。



海外支部 中華民国(台湾)支部会

九月六日(土)、現地の校友二十三名、大学関係者五名にご参加いただき、台北市で「台湾支部校友会」を開催しました。
黄文成支部長による開会の挨拶の後、梅村清英総長・理事長、中京大学長が母校の現状や将来構想、スポーツ競技の結果を報告されると参加者一同、熱心に耳を傾けておりました。
続いて陳全寿先生の乾杯のご発声を合図に祝宴が始まり、ご来賓の森谷敏夫顧問からは祝辞が述べられました。終盤、陳先生の誕生日(八十五歳)を祝う特大ケーキの登場でさらに盛り上がり、最後は参加者全員で学歌を斉唱し、閉会となりました。



都道府県支部 沖縄県支部会

二月八日(土)、那覇市の沖縄県青年会館において七年ぶりに「沖縄県支部会」を開催しました。
冒頭、梅村清弘梅村学園名誉総長、宮城鐵男前支部長ら故人のご冥福を祈って黙祷を捧げたのち、琉球舞踊と歌三線によって開会。
神谷真吾・高橋繁浩両副会長をはじめ四名の大学関係者にご出席を賜り、総勢三十五名での、にぎやかな会となりました。
会員相互に、そして大学の方々とも親睦を深めつつ、本県教育界を牽引された三名のご紹介と併せてスピーチも頂戴できました。
また支部会員による自己PRも懇親の場を大いに和ませ、最後は学歌斉唱で幕を下ろしました。



都道府県支部 埼玉県支部

三月三十日(日)、上尾東武ホテルにおいて「埼玉県支部校友会」を開催いたしました。
ご多忙の中、寺尾荘平校友会事務センター長、各務豪紀センター長付部長のご臨席を賜りました。また埼玉支部からは小島正喜支部長をはじめ、高木英朗顧問を含めた十五名が集まり親睦を深めました。
全国でも有数の規模を誇る総合大学へ発展した母校の様子や、会員一人ひとりの近況報告も聞くことができました。
最後は小島支部長の掛け声のもと、参加者全員で肩を組み、学歌を高らかに歌い上げて閉会しました。



都道府県支部 高知県支部

五月三十一日(土)、高知会館において「高知県支部総会 支部会」を開催いたしました。
翌六月一日(日)には、恒例となった「梅村杯争奪ゴルフコンペ」を土佐山田ゴルフ倶楽部にて実施。八つのグループに分かれ、和やかながらも熱戦が繰り広げられて、参加者全員が楽しく交流を深めることができました。
二〇二六年度は五月三十日(土)に総会・支部会、翌三十一日(日)にゴルフコンペを開催予定です。校友会の発展と新しいつながりを大切に、交流と会員拡大に努めてまいります。グループリーダーでの情報共有も行ってまいりますので、ぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

学部・研究科 スポーツ科学(体育学)研究科校友会



第七十五回日本体育・スポーツ・健康学会大会(日本体育大学・世田谷キャンパス開催)の二日目の夜、Hotel ARUKSPにおいて「スポーツ科学研究科校友会」が開催されました。
昨年は台風の影響で中止となったことから、今回は二年ぶりの実施となりました。
川西正志会長や北川薫中京大学名誉教授をはじめ、各大学の教員や現役の大学院生、延べ四十八名が出席。久しぶりに顔を合わせる機会となり、ご参加いただいた皆さまが笑顔で喜ばれている姿が印象的でした。
次回は第七十六回日本体育・スポーツ・健康学会大会(北海道)の開催と合わせて実施予定です。

学部・研究科 法学部校友会



法学部校友会では、今年度も中京大学・名古屋キャンパスにおいて二つのイベントを開催。
まずは十一月二日(日)、石川三夫名誉教授をお迎えして講演会と懇親会を、さらに十二月六日(土)には現役法学部生との交流イベント「お仕事フェア」を、法学部学生団体Clearisと共同で実施しました。
いずれも多くの卒業生と在学生が参加、ともに法学を学び修めた者として世代を超えた親睦と交流を深めることができました。
法学部校友会は、これからも卒業生同士の交流や在学生との結びつきを一層強化し、中京大学のさらなる発展に寄与してまいります。

学部・研究科 経済学部校友会



十二月十三日(土)、名古屋キャンパスにおいて「第四回 経済学部校友会総会・懇親会」を開催しました。梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ、今期でプロボクサーを引退した田中恒成さんから経済学部卒業生、教員を含む校友四十三名で親睦を深めました。
第一部は塚本准教授のご講演、第二部の懇親会は、来賓祝辞、乾杯の音頭を皮切りに終始和やかなムードで歓談が行われました。途中、田中さんの功績をたたえ、経済学部校友会を代表して金子会長より花束が贈呈されました。いよいよ二年後は経済学部創立四〇周年を迎えます。経済学部校友生全員で大いに盛り上げましょう！

都道府県支部

東京都支部

七月二十六日(土)、銀座ライオン銀座ビル六階クラシックホールにおいて、大学関係者五名、支部会員三十名が参加し、二年ぶりとなる「東京都支部校友会」を開催しました。

支部長挨拶に続き、スポーツ振興部副部長でオリンピックの青戸慎司氏による「パリ五輪から学ぶ」心と体の健康づくりと習慣化」の講演。その後、滝副会長、各務事務センター付部長、八一年度卒で俳優の小西博之氏の挨拶を経て乾杯。懇親会では一九八〇年度卒から二〇二四年度卒まで幅広い世代が交流を深め、学歌斉唱の後、次の再会への期待を残して散会となりました。



都道府県支部

北海道支部

八月九日(土)、「北海道支部校友会」を旭川市内のホテルで開催しました。

昨年に引き続き、梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ、竹尾悟校友会副会長、寺尾莊平校友会事務センター長のご出席を賜り、終始、リラックスティオ雰囲気の中で交流を楽しむことができました。

その後、まだまだ元気な有志は三次会へと繰り出しました。

今年は北海道らしい爽やかな気候にも恵まれ、この日に行われたゴルフコンペの参加者たちは心地よい汗を流していました。



都道府県支部

徳島県支部

八月十三日(水)、有名連「八千代連」のサポートを受けて、夏の恒例行事となりました阿波踊りに参加しました。米国からの交換留学生を含む大学関係者の十二名など総勢八十名と、これまでで最も多い人数となりました。

今回は三力所の栈敷に踊り込み、大いに盛り上がりました。終了後の懇親会では、会員同士が親睦を深め、有意義なひとときを過ごすことができました。

阿波踊りには、毎年八月十三日に参加しています。徳島支部会員のみならず、ご家族やご友人、他県の皆さまの参加も大歓迎です。一緒に徳島の夏を盛り上げましょう。



都道府県支部

富山県支部

八月三十日(土)、梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ、森田副会長、梅村副会長など大学関係者にもご出席いただき、「富山県支部会」を開催しました。

梅村総長から、現在大学が取り組んでいるプロジェクトや活躍する学生の様子をお話しいただきました。また、大学創立七〇年を迎えた母校の紹介動画を視聴し、しなやかに挑み続ける姿に感銘を受けました。

懇親会では、旧知との再会や新たな出会いに感激し、さらなる活躍を誓い合いました。最後は声高らかに学歌を歌い、感動の中で会を終えることができました。



都道府県支部

新潟県支部

八月三十日(土)、新潟市内のアートホテル新潟駅前において、ほんとうに久しぶりに「新潟県支部校友会」が開催されました。

寺尾莊平校友会事務センター長をはじめとする大学関係者の出席のもと、総勢二十九名が集まりました。

「中京大学の今昔」と題した母校のDVDでは、名古屋・豊田両キャンパスの風景を懐かしむと同時に、出席者はかつての姿から大きく変化した母校に驚きを隠せない様子でした。



都道府県支部

島根県支部

九月二十七日(土)、「島根県支部会」を松江市のエクセル東急で開催し、二十五名が参加しました。

一九六三年度卒業の二名の先輩にご参加いただくなど、幅広い世代が集い、親睦と情報交換の場となりました。ご出席された大学関係者からは母校の近況もお知らせいただきました。

地域に在住する校友の情報が十分に把握できていないことが課題であり、今後も校友の皆さまのご協力をお願いしたいと考えています。また次年度も引き続き開催し、若い世代の参加を促していきたいと思っています。



都道府県支部

岡山県支部

九月二十七日(土)十八時より、ピュアリティまきびにて「岡山県支部校友会」を開催しました。支部会員二十七名、大学関係者六名が参加し、にぎやかな雰囲気の中で活発な交流が図られました。

翌二十八日(日)には会員十名と大学関係者五名が参加し、岡山カントリークラブで「梅村杯ゴルフコンペ」を開催。爽やかな秋空の下、会話も弾み、ラウンドを通じて親睦を深めることができました。

次回は二〇二六年九月、倉敷市で開催予定です。皆さまの参加をお待ちしております。



都道府県支部

宮城県支部

十月四日(土)、仙台国際ホテルにて「北海道・東北ブロック支部長会および宮城県支部会」を開催しました。相羽校友会長をはじめ、瀧副会長、校友会事務センター三名、そして各支部長、宮城県支部会員十四名の参加のもと、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。

「中京大学の今昔」と題したDVD映像では、当時を懐かしむ声が周囲から聞こえてきました。

梅村学園ならびに中京大学が今後ますますご発展を遂げられますよう、また、会員の皆さまがご健康で活躍されますようお祈り申し上げます。



都道府県支部

茨城県支部

茨城県では昨年十月十一日(土)、梅村清英総長・理事長、中京大学長、関根副会長、梅村利恵校友会副会長をはじめとする大学関係者、関東ブロック支部長の皆さまをお迎えし、「関東ブロック支部長会および茨城県支部会」を開催しました。

数年ぶりの開催にもかかわらず、多くの皆さまにご参加いただき、楽しいひとときとなりました。

また、卒業したばかりの若い世代の参加者もあり、新たな可能性を感じさせる良い機会となりました。ご参加いただいた皆さま、準備にご協力いただいた校友会事務センターの皆さまに心より感謝申し上げます。



都道府県支部

静岡県支部

十月十一日(土)、恒例行事となった「校友親睦会」を男性九名、女性七名の計十六名で開催しました。寺尾莊平校友会事務センター長から大学の近況をうかがい、参加者からは「大変参考になった」「また聞きたい」など好評でした。

親睦会には幅広い世代が参加し、打ち解けたムードの中、積極的に意見や名刺を交わす姿も見られ、初めて参加した校友は「気軽に話やすく、有意義な時間を過ごせた」と満足そうでした。

今後は静岡県内を東・中・西と三つのエリアに分け、校友会の活性化につながるような企画を実践していきたいと思っています。



都道府県支部

鹿児島県支部



十月十二日(日)、「鹿児島県支部校友会」を市内のホテル吹上荘にて開催しました。参加者は種田行男校友会副会長や大学の方々を含めて十五名と少人数ではありましたが、初めて参加された方も皆で楽しく語り合い、親睦を深めることができました。

都道府県支部

岐阜県支部



十月十八日(土)、梅村清英総長・理事長、中京大学長、松村亜矢子校友会副会長にご参加いただき、「中部ブロック支部長会および岐阜県支部会」を無事に終えることができました。

都道府県支部

山口県支部



十月二十五日(土)、「中国・四国ブロック支部長会および山口県支部会」を、相羽由光校友会長、寺尾悟校友会副会長はじめ大学関係者のご出席のもと、山口グラントホテルにて開催しました。

都道府県支部

長崎県支部



十月二十五日(土)、セントヒル長崎で「長崎県支部校友会」を開催しました。神谷真吾校友会副会長、刀根寛校友会センター長補佐、宮原祥吾校友会理事と大学関係者にもご参加いただき親睦を深めました。

都道府県支部

滋賀県支部



十一月一日(土)、「滋賀県支部総会・支部会」を開催しました。総会では支部長の交代と新しい役員を選出について確認を行いました。

都道府県支部

宮崎県支部



十一月八日(土)、「九州・沖縄ブロック支部長会および宮崎県支部会」を開催しました。

都道府県支部

兵庫県支部



「光陰矢のごとし」阪神・淡路大震災から三十年。月日の経つのは早いものです。コロナ禍の影響も終息し、日常生活が戻ってきました。

都道府県支部

熊本県支部



熊本県北部・城北地区での「京城北会」を十一月十五日(土)、後藤先輩(体育学部卒)の古稀のお祝いを兼ねて開催しました。

都道府県支部

石川県支部 (学校部会を含む)



十一月二十二日(土)、「第十九回石川県支部会」を四十名が参加し金沢市で開催しました。

都道府県支部

三重県支部



十一月二十三日(日・祝)、津市・洞津会館にて「三重県支部総会・支部会」を実施しました。

都道府県支部

長野県支部

十一月二十九日(土)、「長野県支部会」を松本市で開催しました。参加者は十二名と昨年より少し数を減らしましたが、DVDで母校の今昔の風景を見て、学歌を久しぶりに聞いて、心がまた大学時代に戻った気がしました。グループLINEで、この支部会の模様を動画編集し共有しました。大学を卒業しても異なる世代の校友が、「中京大学」という共通のキーワードでつながっています。「つながり」の心地よさを感じながら会を閉じました。「来年もまたやりましょう！」の声も多く、その場で日程を決めて解散しました。



都道府県支部

福井県支部

十二月六日(土)、参加者三十名で「福井県支部総会・支部会」を開催しました。会の冒頭、福井市内で蕎麦店を営む宝山栄一氏にご講演をいただきましたが、県内の私立高校蕎麦部を三年連続で日本一に導かれた実践家です。その話す内容は力強く、参加者一同感銘を受けました。今回は、初めて参加された校友の自己紹介や名刺交歓会も取り入れ、皆で和気あいあいと懇親会を終えることができました。当支部では「つながり」を大切にしています。ぜひ声を掛け合い、一人でも多くの方と校友会を楽しみましょう。初めての方も気軽に「ご参加ください」。



学校部会

愛知県学校部会
名古屋市(八豊会)

五月十六日(金)、中京大学・名古屋キャンパスにおいて、名古屋市教職員で構成している「八豊会」の総会ならびに懇親会を開催しました。総会終了後に開催した懇親会では、「来賓として梅村清英総長・理事長、中京大学長をはじめ、多くの大学関係の方々にもご参加いただきました。会場では、職場の情報交換や個人の近況報告など、幅広い世代の校友が隔たりなく言葉を交わし、大いに盛り上がり、充実したひとときを過ごすことができました。今後も校友と力を合わせながら、名古屋市の教育を盛り上げていきたいと考えています。



学校部会

愛知県学校部会

六月二十一日(土)、「愛知県学校部会総会および懇親会」を梅村清英総長・理事長、中京大学長はじめ多くの「来賓の方々」ご出席を賜り、執り行うことができました。対面では六年ぶりに顔を合わせた仲間や新たに加わった仲間と交流できた時間は、つながりの大切さを再確認する機会となりました。コロナ禍を乗り越え、目まぐるしく変化する教育現場で、愛情と思いやりを持って日々取り組んでいる校友の存在は、頼もしさを感じるだけでなく心の支えになります。今後横のつながりを広く太くしていけるよう、校友会活動を充実させていきたいと思えます。



学校部会

愛知県学校部会
豊田・みよし地区

七月二十五日(金)、「豊田・みよし地区懇親会」を開催しました。梅村清英総長・理事長、中京大学長や安村仁志校友会顧問、十二名の大学関係者、五名の顧問の皆さまにご臨席いただきました。コロナ禍を経て、昨年度から五年ぶりに再開しました。大学時代の思い出や最新の情報交換など、参加者それぞれに会話も弾みました。一年に一度の本会ですが、先輩後輩問わず集してお互いを知り、語り合うことで、母校の絆を深める良い機会ではないかと感じます。締めくくりに斉唱する学歌は、まさに深まった絆の象徴でした。



学校部会

愛知県学校部会
特別支援教育部会

九月十三日(土)、ルブラ王山において「愛知県学校部会特別支援教育部会総会・懇親会」を開催しました。今年度は総勢五十一名の校友が集い、楽しく、盛大に交流することができました。懇親会が始まると、会場は大いに盛り上がり、笑顔で歓談する様子があちらこちらに見られ、笑い声に溢れたとても楽しい時間となりました。学歌斉唱では、参加者全員が一つの輪でつながり、肩を組みながら大合唱で盛り上がりました。これからも「つながり」を大切に、つながりの輪がさらに広がっていくことを願っています。



学校部会

愛知県学校部会
知多地区

二〇二六年一月三十日(金)、半田市福祉文化会館内レストランにて「愛知県学校部会知多地区」を開催しました。総会後の懇親会の席には、大学から久野弘幸教養教育研究院教授・教職センター長、後藤晃伸スポーツ科学部准教授をはじめ五名の方々に「ご臨席を賜り、校友生四十二名が参加して親睦を深めました。普段同じ地域で働きながら、小学校・中学校・高等学校の教員が一堂に会し交流できる機会は少なく、貴重な情報交換の場となっています。今後も恒例行事として毎年開催する方針ですので、参加経験のない方も次回ぜひお越しください。



学校部会

愛知県学校部会
岡崎地区

二〇二六年一月三十一日(土)、徳川家康公の生誕地である岡崎において、「愛知県学校部会岡崎地区」を開催しました。「来賓の皆さま、OB・OG、現職者を含めて四十名が集い、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。岡崎地区の特徴は、若い世代の出席者が増え、校友生が世代を超えてつながっていることです。また今年度は校友会より、岡崎地区校友会旗を寄贈していただきました。そのご厚意に感謝申し上げます。そのご厚意に感謝しながら学歌を歌う時間を共有し、大学時代に戻ったような気持ちになりました。中京大学校友会のますますの発展を全員で祈念し、閉会しました。



職域部会

MOT会

「中京大MOT会は、大学卒業後も、人とのつながりを大切にしたい方のための交流コミュニティです。イベントは、初めてでも参加しやすいものばかりです。四月の「学校に行こう」はOB・OGのお仕事紹介、七月には夏のバーベキュー大会、女子会などの開催も予定しており、年齢やキャリアを問わず参加できます。また毎年一月の「アフターパーティー」には約五十名が参加し、若い世代の初参加も増えています。新しいつながりを見つけに、ぜひ一度「ご参加ください」。



Facebook



職域部会

オリンピアンの会

オリンピアン・パラリンピアンで組織する「中京大学オリンピアンの会」が発足し、その第一回目の交流会を開催しました。オリンピアン・パラリンピアンのネットワークづくりと、会の設立趣旨・活動方針の共有を目的に十五名が参加。皆、卒業生としての誇りと仲間意識が強く、活発な意見交換につながりました。「会の理念共有」「コミュニケーション」形成「今後の活動テーマ創出」という三点で大きな成果をあげました。今後は寄せられた意見を踏まえ、活動モデルの具体化と継続的な価値創出に向けた運営体制の整備を進めてまいります。



HONOR

校友会員の栄典・栄誉

2025年度も多くの校友の皆さまがそれぞれの分野における
ご功績が認められ、叙勲の栄に浴されました。

令和7年度 秋

旭日双光章

1971年度 商学部卒 前田 一博さん



福井県の今立町議会議員を経て、合併後は越前市議会議員として5期を務め、議長も拝命しました。今日に至るまで、23年間の議員活動を支えてくださった多くの皆さまのおかげと、心より深く感謝申し上げます。この栄誉を励みとし、今後も微力ながらお役に立てるよう地域に寄り添ってまいりたいと思います。

令和7年度 春

瑞宝小綬章

1975年度 体育学部卒 本庄 幸賢さん



母校・中京大学での学びを土台として高校で38年間、教育長として9年間、これまで教育一筋に走ってまいりました。その足跡がこの度の栄誉となり、中京大学をはじめ関係者の皆さまに心より感謝を申し上げる次第です。今後はこの喜びを胸に、北海道支部会員とともに母校の発展に寄与してまいります。ありがとうございました。

令和7年度 春

瑞宝双光章

1969年度 体育学部卒 井内 義延さん



令和7年春の叙勲に際し、身に余る栄誉ながら、囃らずも「瑞宝双光章」受章の栄に浴することとなりました。この度の受章は、教育・自治会関係者の皆さまの長年にわたるご指導、ご支援の賜物と深く感謝しております。ご恩に報いるべく、これからも心豊かな人づくりに一層精進していく所存です。

令和7年度 春

瑞宝単光章

1973年度 法学部卒 岩永 満さん



この度は身に余る栄誉に浴し、誠に感激しております。長年にわたりご指導くださった皆さまに深く感謝を申し上げます。大学卒業後は福井県警察官を拝命し、38年間、捜査や鑑識などに従事してまいりました。現在は福井県庁生活安全課に勤め、合同庁舎防災センターに在職。今後も精進を重ね、社会貢献に努めてまいります。

令和7年度 春

瑞宝小綬章

1962年度 体育学部卒 平岡 一能さん



大学では重量拳部を創部。卒業後は三重県内の高校で重量挙げの指導者として専門部長、理事長兼強化部長(みえ・佐賀・青森国体優勝)、県ウエイトリフティング協会副会長、日本協会強化コーチ(オリンピック3位者も指導)などを務めさせていただきました。この受章は長年の「真剣味」が実ったものと、多くの皆さまに感謝を申し上げます。

令和7年度 春

瑞宝双光章

1967年度 商学部卒 宮崎 耐輔さん



令和7年春の叙勲において、「瑞宝双光章」受章の栄を賜り、身に余る光栄に存じます。小・中学校・教育委員会に長年勤め、教育活動等に従事してまいりました。これまでの道のりを振り返りますと、多くの方々との出会いがあり、温かいご指導を賜りました。お世話になった皆さまに今、感謝の気持ちでいっぱいです。

令和7年度 春

瑞宝双光章

1973年度 法学部卒 谷内 正朗さん



この度は、身に余る栄誉を賜り、心より御礼申し上げます。県民の「安全安心」のため微力ながら尽力してまいりましたが、これもひとえに温かくご指導、ご支援くださった諸先輩方、また苦楽をともにしてきた同僚や家族のおかげと深く感謝しております。今後も健康に留意しながら、自分らしく歩んでいければと思っております。

令和7年度 春

瑞宝単光章

1973年度 法学部卒 黒瀬 博史さん



1974年に大学を卒業後、高知県警に入り、機動隊勤務等を経て、自動車警ら隊で110番通報の現場処理に30年近く務めました。現場では危険も伴いましたが、私には適所だったようで、気がつけば退職となりました。今の自分があるのは、家族や友人・知人の存在があればこそです。父は40歳で殉職しました。父の分まで長生きします。

職域部会
アドバイザーの会
〈関東地区〉



十一月二十二日(土)、「中京大校友会アドバイザーの会(関東地区)第二回」を開催しました。優良企業から内定を獲得し、大学四年次に在学生の就職活動を支援するのが学生アドバイザーです。そのOB・OGで組織する本会は、社会に出てより一層活躍されている校友同士で交流を深め、卒業後もビジネスの活性化等につなげていくことを目的としており、今回は大学関係者を含め合計七名が出席しました。
これからも定期的に開催し、さらなる規模拡大を目指していく予定です。

クラブ
美術OB・OG会
としわ会



四月十五日(火)〜二十日(日)、名古屋市民ギャラリー栄にて「第二十三回中京大学美術部OBとしわ会展」を開催しました。出品者八名で油絵・水彩画・写真作品の計三十九点を出品。レベルの高い作品ばかりで、梅村清英 総長・理事長、中京大学長をはじめ六八〇余名の来場者から高い評価をいただきました。十四日(月)には総会・親睦会を嘉文栄本店で八名の出席で行いました。第二十四回展も同会場にて二〇二六年四月十五日(水)〜二十日(月)開催予定です。校友・大学関係者からの出品を心よりお待ちしております。

クラブ
混声合唱団



五月三日(土・祝)、アイリス愛知において、混声合唱団初の懇親会を開催しました。会場には、顧問の柳沢昌紀教授をはじめ、来賓をお迎えし、二十代から七十代まで約七十名の校友が全国各地から集いました。
食事を楽しみ、歴代指揮者のタクトで懐かしい曲を大合唱。会場に美しいハーモニーが響き渡り、旧友との再会に笑顔も広がりました。当時の写真や演奏会パンフレットを手にとると情熱がよみがえり、「また歌いたい」「後輩を応援したい」と、伝統と絆を次代へつなぐ温かな会となりました。

クラブ
スキー競技部
OB・OG会



七月二十六日(土)、「スキー部OB・OG会総会および懇親会」を豊田キャンパスのCHUGLE CAFEで開催しました。
当日は、現スキー競技部長の來田享子副学長やオリンピックアンの伊藤みきさんにもご出席いただきました。総会では、大学や部の近況報告に続いて、前部長の北川薫名誉教授の叙勲受章、來田部長の副学長就任について報告がありました。懇親会には現役部員も出席し、OB・OGと交流できる良い機会となりました。
次回は名古屋キャンパスで開催予定です。オンライン併用ですので、遠方の皆さまもぜひご参加ください。

クラブ
硬式野球部
中京清球会



十一月二十九日(土)、名古屋ガイデンパレスで「中京清球会総会・懇親会」を開催しました。
二十代から四十代を中心に、約百五十名の方々にご参加いただきました。野球部のこの一年を動画で振り返り、引退した四年生の就職報告・決意表明、新キャプテンからの抱負も述べられ、参加者全員で一致団結してサポートしていくことを確認しました。
今回参加できなかった卒業生の皆さまも、毎年実施しておりますので、ぜひご参加ください。

2024年度 中京大学校友会 決算報告書

会計期間：2024年4月1日～2025年3月31日

収入		支出		
勘定科目	金額	勘定科目	補助科目	金額
前期繰越金	646,694,523 円	各会開催費		18,998,858 円
校友会費	240,360,000 円	開催支援費		2,199,477 円
受取利息	262,975 円	奨励費	課外活動奨励金	3,870,000 円
雑収入	43,550 円		課外活動援助費	1,140,000 円
以下余白		旅費交通費		13,542,394 円
		通信運搬費		25,511,616 円
		印刷製本費		17,087,452 円
		支払報酬手数料		3,639,074 円
		関係者贈答費		14,403,980 円
		交際費		188,752 円
		会議費		167,610 円
		租税公課		83,071 円
		新聞図書費		0 円
		広告宣伝費		0 円
		消耗品費		197,789 円
		雑費		0 円
		諸会費		4,125 円
		寄付金	校友会奨学費	77,830,000 円
			大学設備整備事業支援費	10,000,000 円
			学食サポート費	10,000,000 円
		予備費		9,950,000 円
		次期繰越金		678,546,850 円
合計	887,361,048 円	合計		887,361,048 円

2025年度 中京大学校友会 予算報告書

会計期間：2025年4月1日～2026年3月31日

収入		支出		
勘定科目	予算額	勘定科目	補助科目	予算額
前期繰越金	678,546,850 円	各会開催費		30,000,000 円
校友会費	277,270,000 円	開催支援費		3,000,000 円
受取利息	260,000 円	奨励費	課外活動奨励金	5,000,000 円
雑収入	10,000 円		課外活動援助費	1,500,000 円
以下余白		旅費交通費		35,000,000 円
		通信運搬費		30,000,000 円
		印刷製本費		20,000,000 円
		支払報酬手数料		8,000,000 円
		関係者贈答費		15,000,000 円
		交際費		500,000 円
		会議費		100,000 円
		租税公課		100,000 円
		新聞図書費		5,000 円
		広告宣伝費		500,000 円
		消耗品費		500,000 円
		雑費		10,000 円
		諸会費		10,000 円
		寄付金	校友会奨学費	73,552,500 円
			大学設備整備事業支援費	10,000,000 円
			学食サポート費	15,000,000 円
		予備費		708,309,350 円
合計	956,086,850 円	合計		956,086,850 円

※中京大学校友会理事会の議を経て承認（2025年5月10日）

校友会 課外活動奨励賞 表彰式

スポーツおよび学術・文化活動の各分野において、
課外活動で優秀な成績を収めた個人・団体を称え表彰式が行われました。

課外活動奨励賞は、課外活動において優秀な成績を収めた学生および団体に対し、校友会が奨励金を贈り、今後より一層、活動の高揚を図っていただけるよう表彰を行うものです。2024年度（下半期）は、個人1名と4団体の受賞。2025年度（上半期）には、個人（リレー・ダブルスを含む）33名と6団体が受賞しました。表彰式は豊田キャンパスで行われ、高橋繁浩校友会副会長から賛辞とともに賞状と奨励金が授与されました。



2024年度 課外活動奨励賞（下半期）表彰式



2025年度 課外活動奨励賞（上半期）表彰式

01 個人情報保護法への対応について

校友会における個人情報の取り扱いは、次の方針で行います。

■ 基本方針

- ①利用目的をできる限り特定し、必要な範囲に限り個人情報を取得します。
- ②利用目的の範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて個人情報を利用します。
- ③取得した個人情報は、本人の同意を得ることなく、第三者に提供しません。
- ④情報セキュリティ対策をはじめ、個人情報の紛失、漏えい等の予防に努めます。
- ⑤外部への業務委託については、個人情報の保護に関する契約の締結及び委託先に対する監督を行い、情報の管理に努めます。
- ⑥本人から個人情報の開示・訂正等の請求がなされた場合は、その請求を尊重して対応します。

■ 具体的方針

- ①会員データの利用目的は、会則に定める「会員相互の親睦を図り、校友の組織を充実させるとともに中京大学の発展に寄与すること」に必要な各種案内や刊行物の発送に限り、それ以外の目的には利用しません。
- ②校友会が管理する個人情報のうち、「会員ナンバー、卒業年度、学部・学科・研究科・専攻、氏名、在学時クラブ名」を各都道府県支部長(部会長及びそれに準ずる方)に提供します。ただし、提供するデータは各所属会員及び会に参加するものに限りです。※この場合の各都道府県支部長(部会長及びそれに準ずる方)は、(法21条に定める)校友会の従業者に該当します。
- ③個人情報は校友会が一元的に管理し、従業者が個人情報を適正に管理するよう監督します。
- ④従業者以外の方には、個人情報を提供しません。(会員名簿は発刊しません)
- ⑤第三者が情報の提供を求めてきたときは、校友会がその用件を本人に取り次ぎます。(本人が必要と判断した場合は、本人から相手方に連絡をとっていただきます)
- ⑥本人から個人情報について利用停止等の請求がなされたときは、その請求を尊重して対応します。

02 証明書の発行について

各種証明書の発行はWebにて申請してください。卒業年度よりコンビニエンスストアでの発行も可能です。従来通り郵送または窓口での申請も可能です。詳細につきましては、中京大学公式ホームページにてご確認ください。

中京大学 卒業生 証明書 検索



03 住所変更等について

会員情報変更につきましては校友会・教育後援会事務センター公式LINEおよび中京大学公式ホームページより変更が可能です。

中京大学 校友会 会員情報変更 検索



公式 LINE 登録のお知らせ

LINEアカウントから二次元コードを読み取り、友だち登録するだけ。



こちらからも登録できます!

そのほか名前検索

ID検索

中京大学校友会・
教育後援会事務センター

@chukyo_alum-parent

友だち登録するだけで、校友会や教育後援会など多彩なイベントや取り組み、在学生や卒業生の活躍など中京大学の“イマ”をお届け!

校友会・教育後援会会員サイトにLINE連携していただくと校友会会員は住所変更が簡単にできます。教育後援会会員は各学部の必要情報のみ受け取れるようになります。

登録者限定イベントも開催しています。ぜひご参加ください!

校友会・教育後援会会員サイト登録手順

- 1 「校友会・教育後援会会員サイト」のアイコンを選択
- 2 「メールアドレス確認」をタップしてメールアドレスを入力後、送信
- 3 本登録のご案内が届きますので、URLをタップ
- 4 「LINEで登録」を選択
- 5 必要事項*をご入力の上「確認画面へ」をタップ

※卒業年度について…(例)2019年3月卒業の場合→2018年度卒で入力します。その他ご不明点等は事務センターまでお問い合わせください。

中京大学校友会・教育後援会事務センター

お問い合わせ先

TEL 052-835-7111(大学代表)
TEL 052-835-7140(事務センター直通) FAX 052-835-6069
中京大学URL <https://www.chukyo-u.ac.jp> 事務センターe-mail koyu@ml.chukyo-u.ac.jp
(平日9:00~17:00 大学一斉休暇等を除く)

〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町101-2

2026年3月発行